

文部科学省 平成24年度  
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

# 平成26年度 活動報告書

順天堂大学  
島根大学  
鳥取大学  
岩手医科大学  
東京理科大学  
明治薬科大学  
立教大学

文部科学省 平成 24 年度  
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」  
選定事業

平成 26 年度活動報告書

順天堂大学  
島根大学  
鳥取大学  
岩手医科大学  
東京理科大学  
明治薬科大学  
立教大学



# 目次

<b>第1編 事業概要報告(平成26年度)</b> .....	<b>1</b>
1. 事業の概要.....	2
1-1 参加大学名(設置者名).....	2
1-2 プログラム名.....	3
1-3 事業名称.....	3
1-4 本事業の概要.....	3
<b>第2編 本年度開講コース</b> .....	<b>5</b>
1. 本年度開講コース.....	6
1-1 順天堂大学 次世代先導的がん研究者養成コース.....	6
1-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブ).....	7
1-3 島根大学 地域がん専門医育成コース.....	8
1-4 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース(インテンシブ).....	9
1-5 鳥取大学 がん看護専門(認定)看護師養成コース.....	10
1-6 岩手医科大学 緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース.....	11
1-7 岩手医科大学 先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース(インテンシブ).....	12
1-8 東京理科大学 がんシステム・創薬研究者養成コース.....	13
1-9 明治薬科大学 がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース.....	14
1-10 立教大学 医学物理研究コース.....	15
1-11 がんに特化した講座の設置.....	16
<b>第3編 平成26年度の取り組み</b> .....	<b>19</b>
1. 外部評価委員会.....	20
1-1 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会.....	20
2. シンポジウム.....	24
2-1 がんプロ市民公開シンポジウム.....	24
2-2 がんプロ国際シンポジウム.....	26
2-3 がんプロ地域シンポジウム.....	28
2-4 がんプロ研究シンポジウム.....	30
3. ワークショップ.....	32
3-1 連携7大学FD研修会.....	32
3-2 臨床研究研修会.....	38
4. 各大学企画講座・連携企画講座.....	42
4-1 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【医師・研究者向け統計講義】.....	42
4-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【医学物理・放射線関係講義】.....	43
4-3 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【薬剤師向け講義】.....	44
4-4 順天堂大学企画講座(セミナー).....	44
4-5 順天堂大学シンポジウム「国際教養学のすすめ ーグローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指してー」.....	47
4-6 順天堂大学シンポジウム「消化器がん化学療法シンポジウム」.....	50
4-7 順天堂大学シンポジウム「A study of lung cancer covering local areas, the Tokyo metropolitan area, and Asia ~Update for lung cancer treatment~」.....	52
4-8 順天堂大学 特別講演会.....	55
4-9 江津市民公開講座.....	57
4-10 トランスレーショナルリサーチセミナー.....	59

4-11	島根大学がんプロ事業中間報告.....	61
4-12	島根大学 がんプロチーム医療 TV カンファレンス-Multi - disciplinary team conference-.....	63
4-13	島根大学 山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース 夏季セミナー .....	64
4-14	鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコースセミナー .....	66
4-15	岩手医科大学 対話 café.....	68
4-16	岩手医科大学 キッズがんセミナー.....	69
4-17	岩手医科大学 『平成 26 年度北東北がん医療コンソーシアム総会・講演会』 .....	72
4-18	東京理科大学 「アカデミック・ディテール・データベース部門シンポジウム」 .....	74
4-19	東京理科大学 「第 30 回薬学講座」 .....	76
4-20	明治薬科大学 ICT 特別講演会 .....	78
4-21	明治薬科大学 がんプロ公開講座.....	80
4-22	明治薬科大学 がんプロ講演会.....	82
4-23	明治薬科大学 がんプロ講演会.....	84
4-24	立教大学 医学物理セミナー.....	86
5.	連携大学 ICT 特別講義.....	88
5-1	連携大学 ICT 特別講義 『新薬、機器開発 (PMDA)』 .....	88
5-2	連携大学 ICT 特別講義 『患者の就労 一を支える我々ができること 現実と理想』 .....	88
5-3	連携大学 ICT 特別講義 『がん医療コーディネーター (CRC/共同研究コーディネーター)』 .....	89
5-4	連携大学 ICT 特別講義 『チーム医療の日米比較 ～トーマスジェファーソン海外研修』 .....	89
6.	共同カンファレンス等.....	90
6-1	がんプロ乳腺臨床・研究 TV カンファレンス.....	90
6-2	がんプロ放射線 TV カンファレンス .....	91
6-3	がんプロ共同研究 婦人科がん会議 .....	91
6-4	順天堂大学・島根大学人材交流事業 .....	91
6-5	Texas Medical center 研修 .....	92
7.	ニュースレター.....	93
7-1	ニュースレター第 9 号.....	93
7-2	ニュースレター第 10 号.....	97
7-3	ニュースレター第 11 号.....	101
7-4	ニュースレター第 12 号.....	105

## 第 4 編 各委員会議 ..... 109

1.	運営連絡会.....	110
1-1	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (26-1) .....	110
1-2	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (TV 会議) (26-2) .....	110
1-3	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (26-3) .....	111
1-4	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (26-4) .....	111
1-5	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (26-5) .....	112
1-6	がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (TV 会議) (26-6) .....	112

# 第 1 編

事業概要報告(平成 26 年度)

# 1. 事業の概要

## 1-1 参加大学名（設置者名）

---

### 順天堂大学大学院医学研究科

学校法人順天堂（東京都文京区本郷2丁目1番1号）  
学長 木南英紀（事業推進代表者）

### 島根大学大学院医学系研究科

国立大学法人島根大学（島根県松江市西川津町1060）  
学長 小林祥泰

### 鳥取大学大学院医学系研究科

国立大学法人鳥取大学（鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101）  
学長 豊島良太

### 岩手医科大学大学院医学研究科

学校法人岩手医科大学（岩手県盛岡市内丸19-1）  
理事長 小川彰

### 東京理科大学大学院薬学研究科

学校法人東京理科大学（東京都新宿区神楽坂1丁目3番地）  
理事長 中根滋

### 明治薬科大学大学院薬学研究科

学校法人明治薬科大学（東京都清瀬市野塩2丁目522番地1号）  
理事長 久保陽徳

### 立教大学大学院理学研究科

学校法人立教学院（東京都豊島区西池袋3丁目34番1号）  
総長 吉岡知哉

## 1-2 プログラム名

---

文部科学省 平成24年度 「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

## 1-3 事業名称

---

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン

## 1-4 本事業の概要

---

順天堂大学はがん専門医療者の養成を行い、がん医療の底上げに貢献してきた。今後は、全国のがん患者に均等に医療者養成の成果を還元し得る臨床の連携、基礎と臨床が協働する医薬看理工連携が課題である。従来、地方と首都圏大学との人材交流は少なく、地方のがん医療人養成はマンパワーに問題があった。本プランでは、本学及び連携医科系大学と非医科系大学をICTと循環型人材交流で結び、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的とする。具体的には（1）順天堂大学に先導的がん医療開発研究センターを整備し、これを拠点とし、（2）東京理科大学・明治薬科大学・立教大学との共同橋渡し研究の体制整備と実施、（3）島根大学、鳥取大学、岩手医科大学の構築するコンソーシアムと理薬工学系大学をICTと人材交流で繋ぎ、臨床・研究・教育に一気に風穴をあける平成のがん医療維新を引き起こしたいと考えている。



# 第2編

本年度開講コース

# 1. 本年度開講コース

## 1-1 順天堂大学 次世代先導的がん研究者養成コース

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）						
コースの名称	次世代先導的がん研究者養成コース						
養成する専門分野	がん研究医						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成 25 年 4 月／4 年						
コースの履修対象者	医学研究科医学専攻（博士課程）大学院生						
養成する人材像	地域から世界まで俯瞰する力を持ち、高度な研究能力を有する次世代がん研究者の養成をおこなう。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	<p>がん臨床の専門家と研究者のもとでの研修（演習・実験実習・研究指導等）に加え、連携大学とのテレビ会議等を利用した講義や合同の研究カンファレンスに参加することにより、履修者・国内留学生はトランスレーショナルな研究課題のディスカッション・発表会を行うことができる。</p> <p>後述の先導的がん医療開発研究センターによる研究コンサルティング等の支援を利用することで、質の高いがんに関する研究の計画立案・計画書作成を行うことが期待できる。また、大学間連携事業（ICT 特別講義、FD 研修会、臨床研究チーム研修等）にも積極的に参加することにより、連携大学・協力施設等との共同研究に繋がるシーズを発見することが可能となり、質の高い学位論文の公表が見込まれる。さらには、教員同士の人材循環も積極的に促す仕組みを構築することが可能となり、がん臨床研究の質の向上、がん医療の質の向上が期待される。</p>						
教育内容の特色等	ICT 環境を利用した講義・カンファレンス、大学間連携事業（FD 研修会等）により、連携大学との情報交換がより効果的に行われる。また、順天堂大学に新たに整備する「先導的がん医療開発研究センター」による研究支援のもと、履修者はがんの研究プロトコル作成等を効率よく行うことができる。具体的には、基礎データベース活用による研究計画書の精度を上げる支援および、研究デザインに関する検討・統計的側面からの支援を受けることが可能である。また、連携大学および協力施設との共同研究計画についても、当該センターが ICT を積極的に活用し、連携のコーディネートを行うことで、共同研究計画の立案・作成がより円滑になる。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	5	5	5	5	20
	受入目標人数	0	5	5	5	5	20
	受入実績	0	12	16			28

## 1-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻						
コースの名称	次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）						
養成する専門分野	がん治療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／1年間（20講義）						
コースの履修対象者	医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ						
養成する人材像	がん診療の最前線を学ぶとともに、基本的ながん臨床・基礎研究を理解できる次世代がん専門医療人を養成する。また、地域がん医療の現状や医師不足・地域定着化への連携を理解できるメディカルスタッフを育成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	がん診療に関わる医療人の質の底上げが可能になる。がん研究や地域におけるがん医療の現状を理解することにより、日本、特に東京都・千葉県・静岡県の離島過疎地区におけるがんの地域医療の均てん化が是正される。						
教育内容の特色等	基礎研究の成果をがん患者の診療の現場に活かすために、臨床に視点においた大学院レベルの基礎教育を実施する。ICT（TV会議やe-learning）も活用し、地域がん医療の現状・国際的ながん医療を学ぶ。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	20	20	20	20	80
	受入目標人数	0	10	10	10	10	40
	受入実績	0	43	7			50

### 1-3 島根大学 地域がん専門医育成コース

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻						
コースの名称	地域がん専門医育成コース						
養成する専門分野	がん化学療法						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／4年						
コースの履修対象者	大学院医学系研究科医科学専攻博士課程 大学院生						
養成する人材像	地域のがん医療の均てん化を図るために、地域に多い高齢者がん医療に精通し、地域連携を推進し、地域貢献のマインドを有する全人的ながん診療専門医を養成すると共に、リサーチマインドを有し、臨床試験を計画し、山陰地区からエビデンスを発信できる能力を育成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	山陰におけるがん診療医師不在、不足の解消と地域への定着化を促進し、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。						
教育内容の特色等	がん診療の基本、治療の適応と禁忌を知り、診療ネットワークの構築について学ぶと共にトランスレーショナルリサーチ、臨床試験についての演習を含む教育内容とする。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	3	3	3	3	12
	受入目標人数	0	3	3	3	3	12
	受入実績	0	1	1			2

### 1-4 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻 (鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻)						
コースの名称	山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ） (鳥取大学との合同事業)						
養成する専門分野	地域がん認定医療						
コースの開始時期/ 修業年限（期間）	平成24年10月/1年						
コースの履修対象者	地域の医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ						
養成する人材像	山陰地区の日常がん治療水準向上を目指し、その共通基盤となる臨床腫瘍学の知識・基本技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師及びメディカルスタッフを養成する。						
期待される成果や効果 (アウトカム)	山陰地区におけるがん診療医師及びメディカルスタッフ（看護師、薬剤師、臨床検査技師（細胞診検査、超音波検査）など）の地域偏在の解消と地域への定着化を促進し、最新がん医療の学び直しを行うことで、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。						
教育内容の特色等	地域がん診療ネットワークの強化と山陰地区全体のがん医療の均てん化を図る。臨床腫瘍学の基礎知識、画像診断、がん化学療法、外科治療、集学的治療、緩和医療など幅広いトピックスを公開講座形式で随時開講する。一部の講義はeラーニングシステムを利用して受講することも可能とする。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	15	15	15	15	15	75
	受入目標人数	15	15	15	15	15	75
	受入実績	16	26	15			57

## 1-5 鳥取大学 がん看護専門（認定）看護師養成コース

大学名等	鳥取大学大学院医学系研究科看護学専攻						
コースの名称	がん看護専門（認定）看護師養成コース						
養成する専門分野	① がん看護専門看護師 ② 認定看護師（がん化学療法看護） ③ 認定看護師（乳がん看護）						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	① 平成27年4月予定／2年 ② 平成26年9月／7ヶ月 ③ 平成26年9月／7ヶ月						
コースの履修対象者	① 臨床看護経験が5年以上およびがん看護経験が3年以上ある者で本学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程（がん看護専門看護師コース）に入学した者。 ② 臨床看護経験が5年以上および、がん化学療法の臨床経験が3年以上ある者で、本学の定める入学試験に合格した者。 ③ 臨床看護経験が5年以上および、乳がん患者の多い病棟または外来で3年以上の看護経験を有する者で、本学の定める入学試験に合格した者。						
養成する人材像	① がん看護分野、特に化学療法と緩和ケアの分野において、実践、教育、相談、調整、研究、倫理において卓越した知識・技能を持つ者。 ② がん化学療法看護に関して卓越した技能を有する者。本コース終了後、看護協会で定める認定看護師認定審査に受験・合格可能な者。 ③ がんの予防から終末期に至るまでの乳がん患者とその家族のQOL向上に向けて、熟練した看護技術を用いて質の高い看護実践ができる者。また、本コース終了後、看護協会で定める認定看護師認定審査に受験・合格可能な者。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	① がん看護専門看護師が絶対的に不足している山陰両県において、幅広くがん看護の質が向上するとともに、がんに関わる認定看護師の育成が期待される。地域医療における外来化学療法および緩和医療において、患者管理や看護実践に対する教育やコンサルテーションが可能となる。 ② がん化学療法認定看護師が絶対的に不足している山陰両県において、がん化学療法に対する知識、技能を習得し、がん患者とのコミュニケーションがスムーズにできる看護師が養成されることによって、外来がん化学療法の治療環境が良くなり、がん化学療法実施による副作用等のリスクが少なくなる。 ③ がん看護に対する知識や技術に精通した認定看護師が多数育成されることで、地域のがん医療人養成とがん医療の均てん化を図るとともに、乳がん患者のより一層のQOL向上を推進することができる。						
教育内容の特色等	① がん全般の知識・技術を習熟し、地域医療に活かせる化学療法看護および緩和ケア看護を重点的に教育する。 ② がん化学療法の知識、技能およびコミュニケーション能力の向上により、患者の異変に対する早期発見・早期対処が可能となる。また、自らの実践力を向上させる能力を育成する。 ③ がんを有する患者の看護実践をとおして他の看護職者に対して、相談・支援・指導ができる能力を育成する。						
① がん看護専門 看護師 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	0	0	2	2	6
	受入目標人数	0	0	0	2	2	6
	受入実績	0	0	0			
② 認定看護師 （がん化学療法看護） 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	10	10	0	0	0	20
	受入目標人数	10	10	0	0	0	20
	受入実績	0	9				9
③ 認定看護師 （乳がん看護） 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	0	10	10	10	30
	受入目標人数	0	0	10	10	10	30
	受入実績	0	0	4			4

## 1-6 岩手医科大学 緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻・内科系専攻						
コースの名称	緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース						
養成する専門分野	緩和医療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／修士課程：2年 博士課程：4年						
コースの履修対象者	大学院医学研究科医科学専攻応用医科学群 修士課程 大学院医学研究科内科系専攻臨床腫瘍学 博士課程						
養成する人材像	がん治療経過中のQOL維持には、地域連携による緩和ケアの持続的な提供が不可欠である。しかし近年の医師不足に加え、先の震災により、東北における緩和ケアの地域連携は各地で壊滅的な打撃を受けた。本コースは、各地域の緩和ケア連携体制の再構築および均てん化を目指し、訪問看護医療も含めた地域ごとの実情に沿った連携システムの整備、ならびに永続的支援を提供するための、各専門職種からなるスキルミクス指向型の指導的医療人育成を目標とする。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケアを含めた、がん治療全般に対する知識、技術を修得することにより、各種認定資格（がん治療認定医、緩和薬物療法認定薬剤師等）の取得を学術的に支援する。</li> <li>各地域において、緩和ケア医療連携が整備されることにより、居住地によらずがん患者が安定して緩和ケアを受けることが可能となる。</li> </ul>						
教育内容の特色等	本コースは、「北東北がん医療コンソーシアム」の現場で活動している各医療専門職を主な対象として、緩和ケアについての高度な知識・技術を修得するとともに、実践的演習を通じて、チーム医療を構成する各職種の専門性を理解し、適切なコミュニケーション、情報の共有方法、およびチームマネジメントの手法を学ぶ。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	3	3	3	3	12
	受入目標人数	0	3	3	3	3	12
	受入実績	0	1	2			3

## 1-7 岩手医科大学 先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻						
コースの名称	先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）						
養成する専門分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランスレーショナルリサーチ(TR)マネジメント</li> <li>レギュラトリーサイエンス</li> </ul>						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年8月／1年間（3単位）						
コースの履修対象者	<p>先導的がん医療システム開発コンソーシアム（がん医療イノベーション）の参画者を対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師/看護師/薬剤師をはじめとした医療者</li> <li>医療系/理工系研究者</li> <li>医薬品・医療機器開発企業担当者</li> </ul>						
養成する人材像	<p>地域で高品位ながん医療を効率的・経済的に運用するため、医療現場のニーズに応じた医薬品・医療機器の開発を行うため、生命科学あるいは理工系の知識に造詣が深く、TRに精通し、守られるべき患者の権利を尊重する敬虔な医療人の育成する。さらにレギュラトリーサイエンスに精通し、臨床試験を実施できる人材の育成を行う。</p>						
期待される成果や効果 （アウトカム）	<ul style="list-style-type: none"> <li>本インテンシブコースの参加者を中心に、3年後を目標として大学院博士課程でのコース設立を目指す。専門家の集うインテンシブコースを設立準備機構として位置づけ、大学院コースに昇華させる。</li> <li>人口移動の少ない岩手の地勢メリットを生かし、長期フォローの可能な、世界的にも類を見ないがん研究拠点形成の第一歩と期待される。</li> <li>壊滅的な被害を受けた岩手沿岸地域に、先導的ながん医療臨床試験のフロンティアフィールドを整備するために必要な人材が育成され、地域住民の福祉にも直接的に貢献する。</li> </ul>						
教育内容の特色等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本コースは、異分野の専門職が集い討議するワークショップ形式のプログラムと、TRならびにレギュラトリーサイエンスに係る講義を併用し、地域で先導的がん医療を実践するために必要な知識を修得する全く新しい試みである。</li> <li>教育課程では東京理科大学大学院との連携を行う。</li> </ul>						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	5	5	5	3	18
	受入目標人数	0	5	5	5	3	18
	受入実績	0	6	6			12

## 1-8 東京理科大学 がんシステム・創薬研究者養成コース

大学名等	東京理科大学薬学研究科薬科学専攻修士課程						
コースの名称	がんシステム・創薬研究者養成コース						
養成する専門分野	創薬医科学						
コースの開始時期/ 修業年限(期間)	平成24年4月/2年						
コースの履修対象者	薬学研究科薬科学専攻修士課程 大学院生						
養成する人材像	がん研究は、がん遺伝子を基点としたオミックスデータやがん細胞の分子生物学的な研究方法により、がんの複雑さが明らかにされてきてはいるが、まだ十分に御することができないのが現状である。そのため、(1)がん細胞及び制がん剤作用機序を細胞内シグナル伝達系の集積による「システムの統合」として理解し、さらに、(2)がん分子標的薬開発を標的タンパク質の立体構造情報に基づいて理論的に創薬する「in silico 創薬」を理解して、21世紀のがんゲノム医療を支える研究者を養成することが重要課題となっている。本研究教育コースでは、このような点に焦点を絞り、国際的にも活躍できる優れた創薬研究者を養成する。						
期待される成果や効果 (アウトカム)	本研究教育コースにより、がん病態やがんシグナルパスウェイからがん分子標的の同定や、制がん剤の作用・副作用機序等を「がん統合システム」として理解し、さらに、コンピュータシミュレーション技術を活用してがん分子標的タンパク質の立体構造を基に理論的な創薬を追及する「in silico 創薬」の重要性を理解した新世代の創薬研究者が輩出されることになる。また、本コースで論理的がん戦略を推進する人材が養成されることによって、現在のがん研究が直面しているがん幹細胞や新規制がん剤開発等に関する様々な難問、限界を飛び越え、我が国のがん研究の水準が飛躍的に向上するとともに、がん医療体制を強化するなどの波及効果が期待される。						
教育内容の特色等	従来の教育コースにはなかった以下の学問領域・演習により成る「がんシステム・創薬学」について、順天堂大学医学部及び製薬企業等と実質的な連携体制を構築して実施する。このような研究教育内容はこれまでになく、極めて独創性に富んでいる。 (1)「がんシステム統合学」 がん細胞内の集積回路の解析とその数理モデル作成によって、個々のがん特異的な遺伝障害による集積回路の構造的、機能的変化からがん発症の仕組みや特性を理解することによって、がんをゲノム・エピゲノムからメタボロームまでを一貫したシステムとして捉える。さらに、制がん剤の作用機序も細胞内シグナル伝達系集積システムとして理解する。 (2)「ゲノム創薬科学」 がん遺伝子を基点とした制がん剤開発のためのがん標的タンパク質分子の立体構造情報に基づく理論的創薬手法を理解する。特にがん遺伝子の変異に対応した最適制がん剤を理論的に創成するためのコンピュータシミュレーション技術、副作用や薬剤耐性を克服するための方策を立案する能力を涵養する。 (3)「臨床データ・サンプルを用いた研究技法演習」 順天堂大学医学部と連携し、臨床データやサンプルを用いて上記「がんシステム」、「in silico 創薬手法」、「制がん剤の処方デザイン」などの妥当性・有効性を検証する。このように臨床と直結した研究技法演習を行う。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	3	5	5	5	5	23
	受入目標人数	3	5	5	5	5	23
	受入実績	10	6	9			25

## 1-9 明治薬科大学 がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース

大学名等	明治薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程						
コースの名称	がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース						
養成する専門分野	薬剤師						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年4月／4年						
コースの履修対象者	薬学研究科薬学専攻博士課程大学院生・科目等履修生						
養成する人材像	がん薬物治療の集学的治療に貢献できる国際的な薬学知識と研究能力をもつ優れたファーマシスト・サイエンティスト(pharmacist scientist)を養成する。						
期待される成果や効果 (アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん薬物療法における薬剤師の貢献に高度な学術的内容を付加できる</li> <li>薬剤師の治療評価診断能力を養成できる</li> <li>社会人大学院生を積極的に受け入れ、がん医療に関わる薬剤師の教育および研究指導者を養成できる</li> <li>欧米大学との教育連携により国際的レベルの臨床薬剤師育成教育ができる</li> <li>社会人大学院生に対して各種学会（医療薬学会、臨床薬理学会等）の認定専門薬剤師取得を学術的に支援できる</li> </ul>						
教育内容の特色等	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床現場で活躍する薬剤師を社会人大学院生として積極的に受け入れ、教育・学術研究能力を育成する</li> <li>学内および順天堂大学の専門医によるフィジカルアセスメント教育プログラム創設</li> <li>教育連携を実施している欧米3大学および順天堂大学医学部から教員を招聘し、日米欧教育シンポジウムと短期集中がん薬物療法教育プログラムを実施する</li> </ul>						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	2	3	3	3	3	14
	受入目標人数	2	2	2	2	2	10
	受入実績	5	3	7			15

## 1-10 立教大学 医学物理研究コース

大学名等	立教大学理学研究科物理学専攻						
コースの名称	医学物理研究コース						
養成する専門分野	医学物理士						
コースの開始時期/ 修業年限(期間)	平成24年4月/3年						
コースの履修対象者	理学研究科物理学専攻大学院生(後期課程)						
養成する人材像	放射線の本質を理解し、最先端の放射線計測技術の成果を臨床現場のニーズに合わせて活用できる能力を有する医学物理研究者及び医学物理士						
期待される成果や効果 (アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん治療時のリアルタイムでの照射量測定技術の開発</li> <li>高精度がん治療における品質保証の向上</li> <li>臨床現場と放射線技術開発の密接な連携強化</li> <li>福島原発事故からの復興に関わる保健物理への貢献</li> </ul>						
教育内容の特色等	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床現場に身を置き、現場ニーズにあった放射線制御およびモニター装置の開発等研究開発能力を備えた博士の育成。</li> </ul>						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	2	2	2	3	3	12
	受入目標人数	1	1	1	2	2	7
	受入実績	1	2	0			3

## 1-11 がんに特化した講座の設置



### 順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 腫瘍内科学講座

国民の2人に1人が罹患し、3人に1人が死亡する悪性腫瘍の治療成績の向上は、我が国の医療における最大の課題であり、がん医療に専門的に従事する優秀な次代の人材を育てることが国民からも強く求められています。がんは遺伝子の構造異常により生じる病気であるため、一つの遺伝子異常が複数の臓器にまたがることも稀ではなく、次代のがん医療従事者は臓器横断的な俯瞰的な視点を持つ必要があります。腫瘍内科学研究室は、臓器別に理解されている知識を有機的に結びつけ、がん細胞の分子生物学的特性というミクロのレベルから、実際の患者の発癌、転移などの臨床的病態の理解および治療というマクロレベルまで、深い洞察力を持った若い医師の育成のために、がんに特化した講座として新設されました。

臨床腫瘍学（腫瘍内科学）に関する卒前教育（医学教育）・卒後教育（大学院生に対する研究、論文指導）のみならず、臨床試験のプロトコール企画・実施の支援、がん治療センターの運営支援、さらには先導的医療開発センターを拠点とした連携大学間の研究支援をつなぐ一拠点として活動を行って参ります。



### 順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 緩和医療学研究室

緩和医療学研究室は、自然科学と人間科学を統合した緩和ケア学の確立と教育・実践、緩和医療医養成、緩和ケアに関心を有する医療従事者の育成、緩和ケア領域における臨床研究を行うことを目的としています。

本研究室では、附属病院に設置された緩和ケアセンターの運営に携わっています。麻酔科ペインクリニック医師、メンタルクリニック医師、看護師、臨床心理士、薬剤師、理学療法士、医療ソーシャルワーカーで構成される緩和ケアのチーム医療を通じ、病を抱えながら過ごす患者さん（主にがんの患者さん）とそのご家族に対し、希望を大切に充実した豊かな人生を「生きること」を支援します。多職種間のコミュニケーションを重視したチーム医療を通じて、がん専門医療人の養成を行います。また、緩和ケア領域における臨床研究を通じてがん研究者を養成し、患者・家族ケアの質の向上と地域・社会貢献に努めて参ります。



### 順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 放射線治療学講座

本講座は、放射線医学講座が放射線診断学講座と放射線治療学講座に発展的に分離、独立しました。設立の目的は、放射線腫瘍医、医学物理士の有機的統合により高精度放射線治療の基礎および臨床研究を行い、かつ、がん治療教育の充実を図ること、また、連携大学との協力による相互の診療と各地域がん診療の充実を図ることです。

放射線治療専門医（7名）と医学物理士（助教3名）を中心に、大学院生に対する放射線生物学および医学物理学の基礎研究指導を行っています。さらに、基礎研究を基盤に高精度放射線治療の開発研究を進めています。連携大学とは臨床面および医学物理面で協力体制の構築を行っています。

このような研究・教育体制により「基礎研究に造詣の深い放射線腫瘍医、医学物理士、放射線治療専門技師」の育成を図っています。



### 島根大学大学院 医学系研究科 島根大学医学部医学科 緩和ケア講座

緩和ケア講座は、教育（卒前、卒後、大学院）、臨床、研究を担当しています。卒前教育としての医学生教育は、ロールプレイを取り入れたチュートリアル教育と臨床実習で全人的な痛みを理解することに重点を置いています。当大学病院には、緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来で臨床実践が行える、全国でも有数の緩和ケア臨床システムを構築しており、卒後教育として希望する初期研修医には緩和ケア病棟で教育を行い、その後は緩和ケア専門医育成プログラムによる専門教育を予定しています。他の医療関係者に対しては、島根県と連携した研修会による緩和ケア専門医療者（医師、医療スタッフ）の認定と育成を行うこと、大学院教育については緩和ケアを大学院で教育するために痛みの治療と地域連携ケアの研究を、ICTを利用して展開していく方針です。



岩手医科大学大学院 医学系研究科  
**岩手医科大学 緩和医療学科**

本学科は、緩和ケアの卒前・卒後の教育の確立・実践、臨床研究者の育成、地域ごとの実情に沿った連携システムの整備と各専門職種からなるスキルミクス指向型の指導的医療人の育成を目的としています。



岩手医科大学大学院 医学系研究科  
**岩手医科大学 放射線腫瘍学科**

本学科は、放射線腫瘍学の卒前・卒後の教育の確立・実践、地域ごとの実情に沿った連携システムの整備、放射線治療に生物学的最適化戦略を開発・研究するがん放射線治療医の育成を目的としています。



明治薬科大学  
**がん先端治療学（アルファ粒子線・免疫治療学）**

がんに対する中性子捕捉療法は難治性がんの治療として注目されています。本講座では、中性子捕捉化合物として新規のホウ素およびガドリニウム化合物を本学の化学研究者と共同で開発・改良すること、捕捉化合物をがん組織に効率的に送達させる drug delivery system の開発すること、さらにはこれに免疫療法を加味した新規治療法を開発することを目的としています。今後、本学の創薬研究者との共同研究で新規がん治療法が開発されることが期待されます。



# 第 3 編

平成 26 年度の取り組み

# 1. 外部評価委員会

## 1-1 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成 26 年 11 月 22 日（土）14:00～17:00

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟 4 階 405 教室

#### (3) 評価委員

1. 公益財団法人 がん研究会有明病院 院長 門田 守人 \*評価委員長
2. 国立がん研究センター中央病院 薬剤部長 林 憲一
3. 一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長 天野 慎介

#### (4) 事業概要説明発表担当者

- ① 教育分野（発表担当：鳥取大学・明治薬科大学）  
鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 教授 辻谷 俊一  
明治薬科大学 副学長／薬物治療学 教授 越前 宏俊
- ② 地域分野（発表担当：島根大学・岩手医科大学）  
島根大学 内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威  
岩手医科大学 内科学講座（血液・腫瘍内科分野） 准教授 伊藤 薫樹
- ③ 研究分野（発表担当：東京理科大学・立教大学）  
東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 教授 早川 洋一  
立教大学 理学研究科物理学専攻 特任准教授 洞口 拓磨
- ④ ICT（発表担当：順天堂大学）  
順天堂大学 大学院医学研究科臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介

#### (5) 主催

順天堂大学

## ■資料

・プログラム

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン外部評価委員会		
<p>がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～では、これまでの事業活動を振り返り、また今後の活動の重要な指針とするため、外部評価委員会を受審することといたしました。評価の受審にあたっては、まず自己点検表を作成し、事前配布資料として評価委員に呈示いたします。次に、主幹大学の順天堂大学にて審査会を開催し、事業内容・活動内容を説明して評価をいただく予定としています。</p>		
開催概要		
日時：平成26年11月22日（土） 14：00～17：00		
場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北4階405教室		
評価委員：		
委員長： 門田 守人（公益財団法人 がん研究会 有明病院 院長）		
委員： 林 憲一（独立行政法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部長）		
委員： 天野 慎介（一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長）		
プログラム		
司会： 統括コーディネーター 高橋 和久（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授）		
1. 開会挨拶	(14：00～14：10)	(10分)
統括責任者：順天堂大学 学長 木南 英紀		
2. 事業概要説明	(14：10～15：40)	(90分)
全体事業概要説明 15分		
事業推進責任者：順天堂大学 大学院医学研究科長 新井 一		
①教育分野		20分
鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 教授 辻谷 俊一		
明治薬科大学 副学長／薬物治療学 教授 越前 宏俊		
②地域分野		20分
島根大学 内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威		
岩手医科大学 内科学講座（血液・腫瘍内科分野） 准教授 伊藤 薫樹		
③研究分野		20分
東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 教授 早川 洋一		
立教大学 理学研究科物理学専攻 特任准教授 洞口 拓磨		
④ICTと大学間連携事業		15分
順天堂大学 大学院医学研究科臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介		
3. 外部評価委員からの質問	(15：40～16：15)	(35分)
～質疑応答～		
休憩		(16：15～16：30) (15分)
4. 外部評価委員による講評	(16：30～16：50)	(20分)
5. 閉会挨拶	(16：50～17：00)	(10分)
順天堂大学 大学院医学研究科分子病理病態学 樋野 興夫		

・出席者リスト

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン 外部評価委員会 参加予定者一覧(H26.11.22)			
<b>1. 外部評価委員</b>			
委員長	門田 守人	公益財団法人 がん研究会 有明病院	院長
委員	林 憲一	独立行政法人 国立がん研究センター 中央病院	薬剤部長
委員	天野 慎介	一般財団法人 グループ・ネクサス・ジャパン	理事長
<b>2. 大学関係者</b>			
○順天堂大学	木南 英紀	学長/事業推進代表者	教授
	新井 一	医学研究科長/事業推進責任者	教授
	高橋 和久	呼吸器内科学/運営委員会委員長/ 統括・コーディネータ	教授
	加藤 俊介	臨床腫瘍学/運営副委員長	教授
	樋野 興夫	分子病理病態学	教授
	佐瀬 一洋	臨床薬理学	教授
	奥澤 淳司	臨床研究センター	先任准教授
	竹田 省	産婦人科学	教授
	大津 洋	先導的がん医療開発研究センター	助教
	今井 美沙	先導的がん医療開発研究センター	助教
	吉田 剛	本郷地区情報センター	主任
	奥原 順子	研究推進支援センター	係員
	伊藤 嘉章	本郷・お茶の水キャンパス事務室 教務課	事務長
	磯部 豊	本郷・お茶の水キャンパス事務室 教務課	課長補佐
	谷川 泰司	本郷・お茶の水キャンパス事務室 教務課	係員
	村里 麻耶	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局	係員
	森川 直樹	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局	係員
	志野 麻子	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局	係員
○島根大学	磯部 威	内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	教授
	青木 修二	学務課 大学院担当	係長
	岸田 亜依	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	係員
○鳥取大学	辻谷 俊一	医学部附属病院がんセンター	教授
	橋井 義文	学務課	教育支援専門職
	眞砂 康治	学務課	教務係長
○岩手医科大学	杉山 徹	産婦人科学講座	教授
	伊藤 薫樹	内科学講座(血液腫瘍内科分野)	准教授
	渡辺 義典	医学部教務課	課長
	小野寺 敬信	医学部教務課	教務課第二係長
	川守 裕陽	医学部教務課	係員
	吉原 沙樹	医学部教務課	臨時係員
○東京理科大学	深井 文雄	薬学部生命創薬科学科 薬学研究科長	教授
	早川 洋一	薬学部生命創薬科学科 薬学研究科幹事	教授
	堀口 道子	薬学部薬学科	助教
	松浦 弘毅	教務部教務課(野田)	課長
○明治薬科大学	越前 宏俊	薬物治療学	教授
	庄司 優	薬効学	教授
○立教大学	栗田 和好	理学部物理学科	教授
	洞口 拓磨	理学研究科物理専攻	特任准教授
	石原 真理子	教務部学部事務3課	係員

・当日写真



# 2. シンポジウム

## 2-1 がんプロ市民公開シンポジウム

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロ市民公開シンポジウム「切らずに治す放射線がん治療」

#### (2) 日時、場所

開催日時：平成 26 年 10 月 18 日（土）13:00～16:30

開催場所：立教大学マキムホール 2 階 M202

#### (3) 講演

「放射線がん治療を支える物理学」

立教大学理学研究科物理学専攻 特任准教授 洞口 拓磨

「放射線でがんを治療すること」

岩手医科大学 放射線医学講座 教授 有賀 久哲

「陽子線治療を含む高精度放射線治療医の進歩」

国立がん研究センター東病院臨床開発センター粒子線医学開発部長 秋元 哲夫

#### (4) 参加者の概要

参加者数：31 名

#### (5) 主催

立教大学

■資料

・ポスター

立教大学がんプロ市民公開シンポジウム

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業


**立教大学**

## 「切らずに治す放射線がん治療」

〈開催日〉  
平成26年 **10.18** (土)

〈時間〉13:00～16:30 (12:30 受付開始)

〈定員〉180名 (申し込み不要)

〈場所〉立教大学マキムホール2階M202

〈主催〉立教大学理学研究科

〈共催〉文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

〈プログラム〉

	総合司会: 立教大学理学部 教授 平山孝人
13:00-13:05	開会の辞 <span style="float: right;">立教大学理学部 教授 小泉哲夫</span>
13:05-13:45	「放射線がん治療を支える物理学」 立教大学理学研究科物理学専攻 特任准教授 洞口拓磨
13:45-13:55	休憩(10分)
13:55-14:35	「放射線でがんを治療すること」 岩手医科大学 放射線医学講座 教授 有賀久哲
14:35-15:15	「陽子線治療を含む高精度放射線治療の進歩」 国立がん研究センター東病院臨床開発センター 粒子線医学開発部長 秋元哲夫
15:15-15:25	休憩(10分)
15:25-16:25	総合討論 <span style="float: right;">総合司会</span>
16:25	閉会の辞 <span style="float: right;">立教大学理学研究科委員長 家城和夫</span>

〈対象者〉  
一般の方及び放射線がん治療に関心のある教員・研究者・医療関係者及び学生

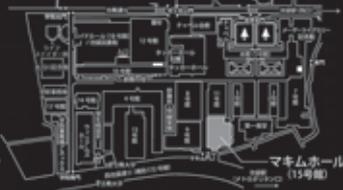
〈問合せ先〉  
**立教大学理学部**  
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1  
TEL: 03-3985-3383 FAX: 03-3985-4159  
MAIL: science@rikkyo.ac.jp  
URL: <http://www.rikkyo.ac.jp/science/ja/igakubuturishi/>

(池袋駅西口徒歩7分)



●池袋駅西口より徒歩7分

(拡大地図)



マキムホール (15号館)

## 2-2 がんプロ国際シンポジウム

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロ国際シンポジウム「がんプロから考える日本発の国際貢献」  
～日本への留学生とのディスカッションを通して～

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年11月21日（金）14:00～17:30

開催場所：岩手医科大学創立60周年記念館9階第二講義室（循環器医療センター）

参加対象：大学院生、インテンシブコース受講生、医師、看護師、薬剤師、その他医療従事者

#### (3) 講演

1. エジプトの婦人科がん診療と日本の婦人科がん診療について  
Hisham Ahmed El-Sayed Abou-Taleb 先生（エジプト出身：京都大学大学院生）
2. インドネシアのがん診療・研究のあり方と日本での環境について  
Budiman Kharma 先生（インドネシア出身：京都大学大学院生）
3. 中国の婦人科がん診療と日本の婦人科がん診療について  
李賓先生（中国出身：東北大学研究支援者）
4. スコットランドのHPVワクチン接種状況と日本の状況について

#### (4) 参加者の概要

参加者数：77名

#### (5) 主催

岩手医科大学

## ■資料

・ポスター

## 「がんプロから考える 日本発の国際貢献」

～日本への留学生とのディスカッションを通して～

### プログラム

【司会】小山理恵(岩手医科大学 産婦人科学講座 准教授)、小島淳美(同 講師)

**第1部 講演** 14時10分～16時10分

1. エジプトの婦人科がん診療と日本の婦人科がん診療について  
Hisham Ahmed El-Sayed Abou-Taleb先生 (エジプト出身：京都大学大学院生)
2. インドネシアのがん診療・研究のあり方と日本での環境について  
Budiman Kharma先生 (インドネシア出身：京都大学大学院生)
3. 中国の婦人科がん診療と日本の婦人科がん診療について  
李寅先生 (中国出身：東北大学研究支援者)
4. スコットランドのHPVワクチン接種状況と日本の状況について  
Sharon Hanley先生 (スコットランド出身：北海道大学特任助教)

**第2部 ディスカッション** 16時20分～17時20分

1. 各国による、医学生教育のありかたについて  
プレゼンター：土屋 繁一郎 (岩手医科大学医学部学生)
2. 各国による、医学研修・専門医修練のありかたについて  
プレゼンター：中山 郁壘 (岩手医科大学産婦人科)
3. 各国による、医療偏在の問題点について  
プレゼンター：羽場 巖 (岩手県立大船渡病院産婦人科長)
4. 国際医療に対して日本ができる支援について

がんプロ国際シンポジウム

文部科学省  
 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

**日時** 平成26年**11月21日(金)** 14時～17時30分

**場所** 岩手医科大学創立60周年記念館(循環器医療センター) 9階 第二講義室

**対象** 大学院生、インテンシブコース受講生、医師、看護師、薬剤師、その他医療従事者等

定員  
100名

参加費  
無料

主催：文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン  
[順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学  
東京理科大学・明治薬科大学・立教大学]

お問合せ先：  
岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)  
TEL.019-651-5111(内線3111)  
E-mail ikyomu@j.iwate-med.ac.jp



Iwate  
Medical University

## 2-3 がんプロ地域シンポジウム

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロ地域シンポジウム「在宅緩和ケアを広げるために」

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年12月22日（月）18:00～20:30

開催場所：島根大学医学部みらい棟4階ギャラクシー

参加対象：医師、看護師、薬剤師他メディカルスタッフ、大学院生、インテンシブコース生

#### (3) 基調講演

##### 1. 「緩和ケア病棟と在宅医療連携」

- ・病棟の立場から 島根大学医学部附属病院緩和ケアセンター 橋本 龍也
- ・MSWの立場から 島根大学医学部附属病院地域医療連携センター 春日 みゆき

##### 2. 「PCAポンプ管理による在宅ケアの実践」

- 島根県立中央病院総合診療科 今田 敏宏
- ・PCAによる在宅緩和ケアでの保険薬局の関わり  
ファーマシィすこやか薬局 熊谷 岳文

##### 3. 「在宅医療での緩和ケアの実践」

ひだまりクリニック 福田 幹久

#### (4) 参加者の概要

参加者数：74名

#### (5) 主催

島根大学、鳥取大学

## ■資料

・ポスター

## 在宅緩和ケアを広げるために

【日時】平成26年12月22日（月）  
18:00 ~20:30

【会場】島根大学医学部みらい棟 4階ギャラクシー  
TV会議配信予定

「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」  
順天堂大学、立教大学、明治薬科大学、東京理科大学、  
岩手医科大学、鳥取大学

【プログラム】 18:00~18:15

総合司会	島根大学医学部 緩和ケア講座 教授	中谷 俊彦 先生
挨拶	島根大学医学部 医学部長	大谷 浩 先生
挨拶	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 教授	辻谷 俊一 先生

基調講演 18:15~19:55 (5名×20分(発表15分+質疑応答5分))

## 1) 「緩和ケア病棟と在宅医療連携」

・病棟医の立場から

島根大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 橋本 龍也 先生

・MSWの立場から

島根大学医学部附属病院地域医療連携センター 春日 みゆき 先生

## 2) 「PCAポンプ管理による在宅ケアの実践」

島根県立中央病院 総合診療科 今田 敏宏 先生

・PCAによる在宅緩和ケアでの保険薬局の関わり

ファーマシィすこやか薬局 熊谷 岳文 先生

## 3) 「在宅医療での緩和ケアの実践」

ひだまりクリニック 福田 幹久 先生

Discussion 19:55~20:30

島根大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 橋本 龍也 先生

島根大学医学部附属病院地域医療連携センター 春日 みゆき 先生

島根県立中央病院 総合診療科 今田 敏宏 先生

ファーマシィすこやか薬局 熊谷 岳文 先生

ひだまりクリニック 福田 幹久 先生

閉会 島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威先生

## 【本件連絡先】

島根大学医学部 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局  
電話0853-20-2576 メール：ganpro@med.shimane-u.ac.jp

平成26年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」  
がんプロ地域シンポジウム

## 2-4 がんプロ研究シンポジウム

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロ研究シンポジウム「がんの病態と薬物治療の接点」

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成27年2月21日（土）13:00～15:45

開催場所：明治薬科大学清瀬キャンパス 総合教育研究棟フロネシス1階 8111 講義室

参加対象：大学院生・学部学生・教員および教育関連病院の社会人薬剤師、薬局薬剤師

#### (3) 講演

1. 「薬剤耐性における癌幹細胞と EMT の関与」

順天堂大学医学部呼吸器内科 准教授 高橋 史行

2. 「小細胞肺癌におけるバゾプレシンの産生調節」

明治薬科大学大学院 薬効学教室 太田 貴洋 庄司 優

3. 「癌化学療法における薬剤耐性とマイクロ RNA」

明治薬科大学、分析化学教室講師、鈴木 俊宏

4. 「がんと ABC トランスポーター」 明治薬科大学 がんプロボスドク、井上 裕貴 池上 洋二 吉田 久博

#### (5) 参加者の概要

参加者数：72 名

#### (6) 主催

明治薬科大学

## ■資料

・ポスター



## がんプロフェッショナル養成基盤事業 研究シンポジウムのお知らせ

本学は順天堂大学が主管するがんプロフェッショナル養成基盤事業において「がん専門薬剤師」を志向する薬剤師の大学院教育と研究を推進しています。今回、本学の大学院生・学部学生・教員および教育関連病院の社会人薬剤師、薬局薬剤師を対象として、がん薬物治療に関する研究シンポジウムを企画いたしましたので、皆さん奮ってご参加下さい。

## 記

### テーマ： がんの病態と薬物治療の接点

日時：平成27年2月21日(土) 13:00 - 15:45

場所：清瀬市野塩2-522-1、明治薬科大学清瀬キャンパス  
総合教育研究棟フロネシス1階 8111講義室

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:00-13:05 | 開会の辞   |
| 13:05-13:40 | 薬剤耐性における癌幹細胞とEMTの関与<br>順天堂大学医学部呼吸器内科、准教授 高橋史行      |
| 13:40-14:15 | 小細胞肺癌におけるバゾプレシンの産生調節<br>明治薬科大学大学院(薬効学教室)、太田貴洋 庄司 優 |
| 14:15-14:30 | 休憩   |
| 14:30-15:05 | 肺癌化学療法における薬剤耐性とマイクロRNA<br>明治薬科大学、分析化学教室講師、鈴木俊宏     |
| 15:05-15:40 | がんとABCトランスポーター<br>明治薬科大学 がんプロポスドク、井上裕貴 池上洋二 吉田久博   |
| 15:40-15:45 | 閉会の辞   |

主催 大学院がんプロフェッショナル養成基盤事業  
連絡先 薬物治療学 越前宏俊、教務課 大学院係  
Email: grad@my-pharm.ac.jp

# 3. ワークショップ

## 3-1 連携7大学FD研修会

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロFDワークショップ「がん医療維新を達成するための自己点検と実行プランの策定」

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年9月20日（土）～9月21日（日）

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北4階405教室

参加対象：本プログラム及び講義に関わっている教員・事務関係者等

#### (3) 講演

1. 「維新のゴールを共有する」 HOPE☆プロジェクト 理事長 櫻井 なおみ
2. 「先導的がん医療開発研究センターにおけるこれまでの取り組み、今後の目標」  
先導的がん医療開発研究センター 助教 大津 洋
3. 「派遣大学院生の紹介」  
「順天堂大学における研修での体験談、現場からの要望等（実例を基に）」  
島根大学呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威  
島根大学呼吸器・臨床腫瘍学 助教 沖本 民生

#### (4) 参加者の概要

参加者数：41名

#### (5) 主催

順天堂大学

## ■資料

・開催案内

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン  
平成26年度 連携FD研修会

1. 実施期日 : 平成26年9月20日(土)～21日(日)  
(9/20 11:30～9/21 11:20 予定)
2. 開催場所 : 順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス  
センチュリータワー北4F 405 教室 (113-8421 東京都文京区本郷2-1-1)
3. 宿泊先 : お茶の水ホテルジュラク (101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-9)
4. テーマ : 「がん医療維新を達成するための自己点検と実行プランの策定」
5. ディレクター: 統括コーディネーター 高橋 和久  
(順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授/順天堂医院 副院長)
6. 代表世話人: 加藤 俊介 (順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 教授)
7. FDの方向性:
  - ①本事業における達成目標と評価指標(定量的・定性的)の再確認
  - ②第1回外部評価委員会における自己評価と外部委員からの評価の再確認
  - ③評価指標(定量的・定性的)に対する具体的な評価項目の確認
  - ④事業前半(平成24年4月から平成26年9月)の進捗状況・成果と今後の課題の確認
  - ⑤事業後半(平成26年10月以降)の目標設定と実行プランの策定
8. 作業部会: ※各部会に世話人を置く。

## 3グループ

	作業部会	該当する「達成目標」
A	ICT連携、地域交流・均てん化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し連携を深める。</li> <li>・地域との交流・均てん化の実施。</li> </ul>
B	循環型交流、医療教育の充実、診療への貢献と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療への貢献・社会への情報発信をおこなう。</li> <li>・循環型交流の実現をする。</li> <li>・がん医療教育の充実を図る。</li> </ul>
C	国際化推進、がん研究の実施基盤の整備発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化に向けた拠点センターの設置</li> <li>・がん研究の実施基盤の設置</li> </ul>

・タイムテーブル

9. 実施スケジュール

◇ 第1日目 【9月20日:土】 会場: センチュリー北4F 405

日程	目安時間	プログラム	
		司会: 先進的がん医療開発研究センター 今井 美沙 助教	
9月20日 (土)	11:30~12:00	<b>冒頭挨拶・開会挨拶・趣旨説明/研修の全体説明</b>	
		冒頭挨拶 順天堂大学 医学部長/事業責任者 新井 一 教授	本FD開会にあたりご挨拶
		開会挨拶・趣旨説明 順天堂大学 呼吸器内科学/統括コネクター 高橋 和久 教授	本FDの趣旨を説明
		研修の全体説明 順天堂大学 臨床腫瘍学 加藤 俊介 教授	研修会の概要等を説明
	12:00~13:20	<b>講演/昼食</b>	
	12:00~ (40分)	講演① HOPE☆プロジェクト 理事長 櫻井 なおみ 先生	「維新のゴールを共有する」
	12:40~ (20分)	講演② 先進的がん医療開発研究センター 大津 洋 助教	「先進的がん医療開発研究センターにおけるこれまでの取り組み、今後の目標」
	13:00~ (20分)	講演③ 島根大学 呼吸器・臨床腫瘍 磯部 威 教授 沖本 民生 先生	磯部教授:「派遣大学院生の紹介と経緯」 沖本先生:「順天堂大学における研修での体験談、現場からの要望など(実例を基に)」
	13:20~18:20	<b>グループワーク/発表準備</b>	
	13:20~ (120分)	グループワーク1	グループに分かれる(3グループを予定) ・アイスブレイキング(自己紹介) ・テーマ毎の進捗状況の確認と課題の抽出 ・今後の課題についての意見交換
15:20~ (60分)	グループ発表・討論	他グループからの意見・情報を得る。	
16:20~ (120分)	グループワーク2・発表準備	グループに分かれ、テーマ毎に実現性の高い目標設定と実行プランを策定する。	
18:20~21:20	<b>運営連絡会/夕食/意見交換会</b>		
18:20~ (60分)	第3回連携7大学運営連絡会 (センチュリー北3F 306)	会議参加者以外は405でお待ち頂き、会議終了後、	
19:30~ 21:00	夕食・意見交換会 (有山地下食堂)		
	1日目終了(宿泊)	ホテル ジュラク	

## ◇ 第2日目 【9月21日:日】 会場：センチュリー北4F 405

9月21日 (日)	<b>9:00~10:50 全体発表・総合討論</b>	
	9:00~	全体発表 (センチュリー北4F 405)
	(30~40分)	総合討論
	<b>10:50~11:20 総括・閉会の辞</b>	
		総括 順天堂大学 分子病理病態学 樋野 興夫 教授
	閉会の辞 順天堂大学 呼吸器内科学/救急医療 高橋 和久 教授	
11:20	2日目終了	

## ・参加者

平成26年度「連携FD研修会」参加者一覧						
No	大学	氏名	フリガナ	所属	職名	グループ
1	順天堂	新井 一	アライ ハジメ	医学部長	教授	—
2		高橋 和久	タカハシ カズヒサ	呼吸器内科学	教授	—
3		加藤 俊介	カトウ シュンスケ	臨床腫瘍学	教授	—
4		樋野 興夫	ヒノ オキオ	分子病理病態学	教授	—
5		齊藤 光江	サイトウ ミツエ	乳腺内分泌外科学	教授	C
6		大津 洋	オオツ ヒロシ	先導的がん医療開発研究センター	助教	C
7		今井 美沙	イマイ ミサ	先導的がん医療開発研究センター	助教	B
8		嶋田 奈緒子	シマダ ナオコ	呼吸器内科学	特任研究員	A
9		Nadila wali	ナディラ ワリ	分子病理病態学	PD	C
10		Piyanuch Sripayap	ピヤヌッチ スリパヤップ	血液内科学	PD	A
11		米尼万 吐拉甫	ミニワン トラフ	呼吸器内科学	PD	A
12		赤池 慶佑	アカイケ ケイスケ	整形外科	RA	B
13	島根	磯部 威	イソベ タケシ	医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学	教授	A
14		猪俣 泰典	イノマタ タイスケ	医学部放射線腫瘍学	教授	B
15		中谷 俊彦	ナカタニ トシヒコ	医学部緩和ケア講座	教授	C
16		沖本 民生	オキモト タミオ	医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学	助教	A
17		頓宮 美樹	トングウ ミキ	公益財団法人 結核予防会 新山手病院 薬剤科		B
18	鳥取	辻谷 俊一	ツジタニ シュンイチ	鳥取大学医学部附属病院がんセンター	教授	A
19		大山 賢治	オオヤマ ケンジ	鳥取大学医学部附属病院がんセンター	助教	B
20	岩手医大	前沢 千早	マエサワ チハヤ	医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門	教授	B
21		木村 祐輔	キムラ ユウスケ	緩和医療学科	教授	A
22		伊藤 薫樹	イトウ シゲキ	内科学講座(血液・腫瘍内科分野)	准教授	A
23		柏葉 匡寛	カシワバ マサヒロ	外科学講座	講師	C
24	東京理大	東 達也	ヒガシ タツヤ	薬学部薬学科	教授	B
25		深井 文雄	フカイ フミオ	薬学部生命創薬科学科	教授	—
26		早川 洋一	ハヤカワ ヨウイチ	薬学部生命創薬科学科	教授	C
27		堀口 道子	ホリグチ ミチコ	薬学部薬学科	助教	C
28	明治薬科	越前 宏俊	エチゼン ヒロシ	薬物治療学	教授	B
29		庄司 優	ショウジ マサル	薬効学	教授	A
30		井上 裕貴	イノウエ ユタカ	体内動態学教室	博士研究員	C

31	立大	栗田 和好	クリタ カズヨシ	立教大学	教授	C
32		洞口 拓磨	ホラグチ タクマ	立教大学	特任准教授	B
33	講演者	櫻井 なおみ	サクライ ナオミ	HOPE☆プロジェクト	理事長	
34	順天堂 (事務)	磯部 豊	イソベ ユタカ	教務課(大学院担当)	課長	
35		谷川 泰司	タニガワ タイシ	教務課(大学院担当)	事務員	
36		山上 志乃	ヤマガミ シノ	教務課(大学院担当)	事務員	
37		村里 麻耶	ムラサト マヤ	教務課(大学院担当)がんプロ事務局	事務員	
38		森川 直樹	モリカワ ナオキ	教務課(大学院担当)がんプロ事務局	事務員	
39		志野 麻子	シノ アサコ	教務課(大学院担当)がんプロ事務局	事務員	
40	岩手医大 (事務)	川守 裕陽	カワモリ ヒロアキ	医学部 教務課	事務員	
41		渡辺 義典	ワタナベ ヨシノリ	医学部 教務課	課長	

## 3-2 臨床研究研修会

---

### ■概要

#### (1) 名称

第3回臨床研究研修会『チームの力で、既存の臨床試験プロトコルをより魅力的にデザインしてみよう!』

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成27年2月28日（土）～3月1日（日）

開催場所：順天堂大学センチュリータワー北4階405教室

参加対象：がんプロ連携7大学のがん研究・がん医療の専門家を目指す有志

#### (3) 参加者の概要

参加者数：53名

#### (4) 主催

順天堂大学

#### (5) 参加大学

順天堂大医・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学

## ■資料

・実施要領

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

## 「第3回臨床研究研修会」

## 実施要領

## 1. 実施期日

平成27年2月28日(土)12:00～3月1日(日)12:00

## 2. 参加校

順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、  
明治薬科大学、立教大学

## 3. 研修・宿泊場所

研修場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス  
センチュリータワー北4階405教室(受付11:30～)

宿泊場所：お茶の水 セントヒルズホテル

〒113-0034 東京都文京区湯島2-1-19 TEL: 03-3831-0081

## 4. テーマ

「チームの力で、既存の臨床試験プロトコルをより魅力的にデザインしてみよう！」

## 5. 実施スケジュール(案)

期日	時間	内容
第1日目 (2月28日)	12:00～12:30	開会の挨拶・趣旨説明・事務連絡・昼食
	12:30～13:30	ミニレクチャー ①基礎研究:今井 美沙(先導的がん医療開発研究センター) ②薬学:小茂田 昌代(東京理科大学) ③看護:中野 真理子(順天堂医院) ④統計:大津 洋(先導的がん医療開発研究センター)
	13:30～	チームビルディング:大崎 桂子(株式会社ビジネスコンサルタント)
	チームビルディング終了後 ～18:00	チーム研究 実習 グループワーク①
	18:00～19:00	夕食 ディナーセッション[60分] 海外研修参加者からの報告会
	19:00～21:30	グループワーク②、発表準備
第2日目 (3月1日)	9:00～12:00	発表会(1グループ30分)
		全体討論・感想
		写真撮影等、閉会の挨拶

## 6. 事前学習

### 1. ICR 臨床研究入門

臨床研究の基礎知識講座(旧 臨床研究入門初級編)を受講し、修了証の持参をお願いいたします。

<http://www.icrweb.jp/>

### 2. 倫理指針(人を対象とする医学系研究は必須)を事前に読んでおいてください。

<http://www.icrweb.jp/mod/resource/view.php?id=120>

研修会では 1.2.を事前に学習したとの前提で、グループワークを行いますので、研修会前日までに対応をお願いいたします。

## 7. グループワーク

課題として挙げた論文をたたき台として、より優れている(科学性、倫理性、実行可能性において)と考えられる新しい臨床研究をデザインしてみてください。

癌腫を変えても、方法を変えても構いません。

但し、背景(がんの終末期緩和ケア導入の必要性)は替えることが無いようにお願いします。

## 8. グループ一覧

### 【研修生】

グループ1:橋本夕美、佐藤礼、磯まなみ、伊東萌々子、岩井ちさと、於本崇志、坂田将貴  
矢野傑士、岡田昌之

グループ2:佐々木ひとみ、趙巧鳳、家田健史、樹井亜美、重野芳、成田匠、吉増孝嗣  
土屋絃一、井上裕貴

グループ3:藤井智明、左井、吉田恵美子、伊窪絵里、岩田美沙子、齋藤有希、谷野良輔、  
日野光貴、鈴木信世、別府佳乃

### 【チューター】

グループ1:加藤俊介、大津洋、柏葉匡寛、越前宏俊

グループ2:樋野興夫、今井美沙、津端由佳里、根岸健一

グループ3:齊藤光江、辻谷俊一、小茂田昌代、庄司優

・参加者リスト

2/28~3/1 第3回臨床研究研修会 参加者リスト								
	No	大学	氏名	フリガナ	所属	職名・学年	資格	グループ
研修生	1	順天堂	佐々木 ひとみ	ササキ ヒトミ	順天堂医院臨床検査部	臨床検査技師	臨床検査技師	2
	2		橋本 タ美	ハシモト ユミ	公衆衛生学	大学院3年	看護師	1
	3		藤井 智明	フジイ トモアキ	下部消化管外科	がんプロ研究支援者 医療スタッフ(博士研究員)	理学博士	3
	4		佐藤 礼	サトウ アヤ	板橋中央総合病院	診療放射線技師	診療放射線技師	1
	5		磯 まなみ	イソ マナミ	血液内科	研究補助者		1
	6		趙 巧風	チョウ コウホウ	皮膚科学・アレルギー学	大学院1年		2
	7		左 卉	サ フィ	感染制御科学	研究生	臨床検査技師	3
	8		吉田 恵美子	ヨシダ エミコ	産婦人科学	大学院1年	医師	3
	9		家田 健史	イエダ タケシ	泌尿器科	大学院3年	医師	2
	10		梶井 亜美	カスイ アミ	順天堂医院看護部	看護師	看護師	2
	11		伊窪 絵里	イクボ エリ	順天堂医院看護部	看護師	看護師	3
	12		岩田 美沙子	イワタ ミサコ	順天堂医院臨床検査部	臨床検査技師	臨床検査技師	3
	13		伊東 萌々子	イトウ モモコ	順天堂健馬病院	研修医1年目	医師	1
	14		重野 芳	シゲノ カオリ	薬剤部	係員	薬剤師	2
	15		齋藤 有希	サイトウ ウキ	薬剤部	係員	薬剤師	3
チューター	1	鳥根	谷野 良輔	タニノ リョウスケ	鳥根大学医学部	大学院2年		3
	1	鳥取	岩井 ちさと	イワイ チサト	鳥取大学医学部附属病院 薬剤部	薬剤師	薬剤師	1
	1	岩手医科	於本 崇志	オモト タカシ	岩手医科大学 薬剤部	薬剤師	薬剤師	1
	1	東京理科	成田 匠	ナリタ タクミ	薬学研究科薬科学専攻修士課程	院生 2年		2
	2		坂田 将貴	サカタ マサキ	薬学部薬学科	学部 5年		1
	3		吉増 孝嗣	ヨシマス タカシ	薬学部薬学科	学部 5年		2
	4		矢野 傑士	ヤノ マサシ	薬学部薬学科	学部 4年		1
	5		日野 光貴	ヒノ コウキ	薬学部生命創薬科学科	学部 4年		3
	6		鈴木 信世	スズキ ノブヨ	薬学部薬学科	学部 4年		3
	7		岡田 昌之	オカダ マサユキ	理工学部情報科学科	学部 4年		1
	8		土屋 紘一	ツチヤ コウイチ	理工学部情報科学科	学部 4年		2
	9		別府 佳乃	ベフ ヨシノ	理工学部情報科学科	学部 4年		3
	1	明治薬科	井上 裕貴	イノウエ ユタカ	薬物体内動態学	博士研究員	薬剤師	2
	1	順天堂	加藤 俊介	カトウ シュンスケ	臨床腫瘍学	教授	医師	1
	2		樋野 興夫	ヒノ オキオ	分子病理病態学	教授	医師	2
3	齊藤 光江		サイトウ ミツエ	乳腺・内分泌外科	教授	医師	3	
4	寺尾 泰久		テラオ ヤスヒサ	産婦人科学	准教授	医師	-	
5	田部 陽子		タベ ヨウコ	臨床検査医学講座	先任准教授		-	
6	田口 良子		タグチ リョウコ	乳腺・内分泌外科	助教		-	
7	中野 真理子		ナカノ マリコ	順天堂医院看護部	看護師長	看護師	-	
8	大津 洋		オオツ ヒロシ	先導的がん医療開発研究センター	助教		1	
9	今井 美沙		イマイ ミサ	先導的がん医療開発研究センター	助教		2	
1	鳥根	津端 由佳里	ツバタ ユカリ	鳥根大学医学部	助教	医師	2	
1	鳥取	辻谷 俊一	ツジタニ シュンイチ	鳥取大学医学部附属病院がんセンター	教授	医師	3	
1	岩手医科	柏葉 匡寛	カシワバ マサヒロ	外科学講座	講師	医師	1	
1	東京理科	小茂田 昌代	コモダ マサヨ	薬学部薬学科	教授	薬剤師	3	
2		坂本 健一	ネギシ ケンイチ	薬学部薬学科	准教授	薬剤師	2	
1	明治薬科	越前 宏俊	エチゼン ヒロトシ	薬物治療学	教授	医師	1	
2		庄司 優	ショウジ マサル	薬効学	教授	医師	3	
1	立教	洞口 拓磨	ホラグチ タクマ	理学研究科物理学専攻	特任准教授		-	
講師	1	講演者	大崎 桂子	オオサキ ケイコ	株式会社ビジネスコンサルタント			-
見学	1	明治薬科	緒生 京子	クリウ キョウコ	大学院臨床薬学専攻博士課程(後期)	博士4年	薬剤師	-
	1	青山学院	香川 秀太	カガワ シュウタ	社会情報学部 大学院 ヒューマンインベージョンコース	准教授		-

# 4. 各大学企画講座・連携企画講座

## 4-1 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【医師・研究者向け統計講義】

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロインテンシブコース【医師・研究者向け統計講義】

#### (2) 第1回講義

講義名称：臨床試験計画の立案時の留意点（SPIRITの解説を含む）

開催日時：平成26年5月7日（水）18:00～19:30

開催場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北3階306教室

講師：アラメディック株式会社 代表取締役社長 林 健一 先生

#### (3) 第2回講義

講義名称：臨床試験成績の報告時の留意点（CONSORTの解説を含む）

開催日時：平成26年5月14日（水）18:00～19:30

開催場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北3階306教室

講師：神戸大学医学部附属病院臨床研究推進センター 特命准教授 吉村 健一 先生

#### (4) 第3回講義

講義名称：がん臨床研究におけるTOPICS <Stat>

開催日時：平成26年5月21日（水）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北3階306教室

講師：神戸大学 医学部附属病院 臨床研究推進センター 特命准教授 吉村 健一 先生

#### (5) 第4回講義

講義名称：がん臨床研究を行うための統計学の基礎

開催日時：平成26年5月28日（金）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北3階306教室

講師：先導的がん医療開発研究センター 助教 大津 洋 先生

#### (6) 第5回講義

講義名称：がん臨床研究における最近の統計学の応用

開催日時：平成26年6月11日（水）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北3階306教室

講師：先導的がん医療開発研究センター 助教 大津 洋 先生

#### (7) 第6回講義

講義名称：ASCO 2014 から

開催日時：平成26年7月2日（水）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北3階306教室

講師：順天堂大学 臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介 先生

## 4-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【医学物理・放射線関係講義】

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロインテンシブコース【医学物理・放射線関係講義】

#### (2) 第1回講義

講義名称：医用画像工学

開催日時：平成26年7月12日（土）13：30～7月13日（日）15：00

開催場所：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北6階602教室

講師：首都大学東京 名誉教授 篠原 広行 先生、つくば国際大学 助教 中世古 和真 先生

#### (3) 第2回講義

講義名称：畳み込み・相関の数学基礎とC言語プログラミング

開催日時：平成26年10月25日（土）9：00～16：45

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー北6階602教室

講師：首都大学東京 名誉教授 篠原 広行 先生、つくば国際大学 助教 中世古 和真 先生

### 4-3 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【薬剤師向け講義】

---

#### ■概要

(1) 名称

がんプロインテンシブコース【薬剤師向け講義】

(2) 講義名、日時、場所、講師

講義名称：支持療法～重要な Minor topic（末梢神経毒性、心毒性、眼毒性など）～

開催日時：平成26年10月10日（金）18:30～20:00

開催場所：順天堂大学本郷キャンパス センチュリータワー（11号館）北4階406教室

講師：国立がん研究センター中央病院 薬剤部 齋藤 義正

### 4-4 順天堂大学企画講座（セミナー）

---

#### ■概要

(1) 名称

The regulation and role of histonemethyltransferase EZH2 in cancer

(2) 日時、場所

開催日時：2014年6月20日（金）18:00～19:30

開催場所：順天堂大学センチュリータワー北3階307教室

(3) 演者

演者：Hirohito Yamaguchi, Ph.D.

(4) 主催

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

#### ■概要

(1) 名称

GTP エネルギー代謝と癌と疾患における役割

(2) 日時、場所

開催日時：2014年12月9日（火）18:00～19:30

開催場所：順天堂大学センチュリータワー北3階307教室

(3) 演者

演者：Atsuo T.Sasaki, Ph.D.

(4) 主催

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

## ■資料

・ポスター（6月20日）

## がん研究の最前線

# The regulation and role of histonemethyltransferase EZH2 in cancer

事前申し込み不要  
参加自由



**山口 浩史 博士**  
Hirohito Yamaguchi, Ph.D.  
Assistant Professor (Non-tenure track)  
Department of Molecular and Cellular Oncology  
The University of Texas M. D. Anderson Cancer Center

**2014年6月20日(金) 18:00~19:30**  
センチュリータワー 南4F 403教室

山口浩史博士は東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻にてPh.D.を取得後、アメリカに留学し、7年ほど前よりThe University of Texas M. D. Anderson Cancer Center, Dr. Mien-Chie HungのもとAssistant Professorとして働いておられます。現在、ラボには約50人のスタッフ、大学院生が在籍しており、乳がんや卵巣癌を中心に「がん」に関わる様々なメカニズムを解明するための基礎研究が行なわれているとのこと。今回は来日された山口先生の忙しい合間を縫って、順天堂大学にてセミナーをお願いいたしました。アメリカでの最先端の研究成果をお話いただく他、M. D. Anderson Cancer Centerの研究環境、そして世界最大の医療研究複合施設Texas Medical Centerで研究をする理由や日本と米国の研究環境の違いなどについて、経験を交えてお話いただく予定です。多数の御来聴をお待ち致しております。

<References>

1. Yamaguchi H, Chang SS, Hsu JL, Hung MC. Signaling cross-talk in the resistance to HER family receptor targeted therapy. *Oncogene (In press)* 2013
2. Yamaguchi H, Hsu JL, Chen CT, Wang YN, Hsu MC, Chang SS, Du Y, Ko HW, Herbst R, Hung MC. Caspase-independent cell death is involved in the negative effect of EGFR inhibitors on cisplatin in non-small cell lung cancer cells. *Clin Cancer Res* 19(4):845-54. 2013
3. Yamaguchi H, Hsu JL, Hung MC. Regulation of ubiquitination-mediated protein degradation by survival kinases in cancer. *Front Oncol*, 2:15. 2012
4. Yamaguchi H, Chen CT, Chou CK, Pal A, Bornmann W, Hortobagyi GN, Hung MC. Adenovirus 5 E1A enhances histone deacetylase inhibitors-induced apoptosis through Egr-1-mediated Bim upregulation. *Oncogene*, 29(41): 5619-29. 2010
5. Yamaguchi H, Woods NT, Piluso LG, Lee HH, Chen J, Bhalla KN, Monteiro A, Liu X, Hung MC, Wang HG. p53 acetylation is crucial for its transcription-independent proapoptotic functions. *J Biol Chem*. 284(17): 11171-83. 2009

**連絡先： 先導的がん医療研究開発センター 03-6801-5736**

**担当： 今井美沙**

文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業  
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～

**先導的がん医療開発研究センター**

■資料

・ポスター（12月9日）

事前申し込み不要  
参加自由

～がん研究の最前線～

## GTPエネルギー代謝の癌と疾患における役割

**2014年12月9日(火) 18:00~19:30**  
センチュリータワー 南 4F 403 教室

**佐々木 敦朗 先生**  
Atsuo T. Sasaki, Ph.D.  
シンシナティ大・癌研究所・助教授  
全世界日本人研究者ネットワーク(UJA)会長

佐々木敦朗先生は、2001年久留米大学にて博士号（吉村昭彦教授）を取得後、2002年JSPSフェローとしてカリフォルニア州立大サンディエゴ校のRichard Firtel博士の研究室に留学されました。その後、2005年、大陸横断、JSPS海外特別フェローとしてハーバード大学のLewis Cantley博士の研究室へ移動し、2012年よりシンシナティ大・癌研究所・助教授として活躍されています。今回は来日された佐々木先生の忙しい合間を縫って、順天堂大学にてセミナーをお願いいたしました。アメリカでの最先端の研究成果をお話いただく他、日本と米国の研究環境の違いなどについて、経験を交えてお話いただく予定です。多数の御来聴をお待ち致しております。

<講演内容；佐々木先生より>

爆発的に増殖する癌細胞では、エネルギー代謝が著しく亢進しています。細胞の主要エネルギーの一つ、ATPを感知するキナーゼとして、AMPKやmTORが知られています。AMPKおよびmTORの制御破綻は、癌化や代謝疾患を引き起こすことから、これらの分子を標的とした疾患治療への競争が世界中で加速しています。私達が注目するのは、第2のエネルギー源であるGTP(グアノシン3リン酸)です。GTPは、細胞の同化作用・シグナル伝達に必須エネルギー分子です。GTPエネルギーは、ATPと比べ、多くの癌細胞で著しい増加が見られます。しかしながら、GTPの変動が及ぼす生体への影響や、細胞がGTPの変動を感知しているのか、90年におよぶ細胞のエネルギー研究において看過されています。本セミナーでは、GTPを用いるシグナル伝達や細胞機能についてご紹介します。そして、我々が見いだした巧みなGTP代謝シグナルについて、最新の結果をご紹介しますディスカッションしたいと思います。

Judge GTP by size do you?



細胞内のGTPは、ATPの約10%量しかありません。しかし、35億年の進化は、GTPに特別な役割を与えました。本セミナーでは、佐々木ラボで進行中のプロジェクトを、湯気がでるほどにホットな未発表データをもとにディスカッションします。

佐々木研究室；[http://www.thesasakilab.org/index\\_j.php](http://www.thesasakilab.org/index_j.php)  
全世界日本人研究者ネットワーク(UJA)；<http://uja-info.org/>

連絡先：先導的がん医療研究開発センター 03-6801-5736

担当：今井美沙

文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業  
～ICTと人で繋ぐがん医療革新プラン～

先導的がん医療研究開発センター

## 4-5 順天堂大学シンポジウム 「国際教養学のすすめーグローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指してー」

---

### ■概要

#### (1) 名称

国際シンポジウム『国際教養学のすすめーグローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指してー』

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年6月28日（土）13:00～16:00

開催場所：順天堂大学センチュリータワー南8階

参加対象：一般

#### (3) 演者

演者：参議院議員、元少子化担当大臣、元軍縮会議日本政府代表部特命全権大使 猪口 邦子  
駐ハンガリー特命全権大使、前ユネスコ日本政府代表部特命全権大使 山本 忠通  
文部科学省 大臣官房 政策課評価室長 齊藤 卓也  
独立行政法人 理化学研究所 統合生命医科学センターチームリーダー 中川 英刀  
テキサス州立大学 MD アンダーソンがんセンター 山口 浩史  
文部科学省 科学技術・学術政策研究所 総括上席研究官 渡辺 その子

#### (4) 参加者の概要

参加者数：132名

#### (5) 主催

順天堂大学

■資料

・ポスター



平成24年度文部科学省採択事業 **がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン**

# 国際教養学のすすめ

ーグローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指してー

会場	順天堂大学 本郷キャンパス センチュリータワー南8階 会議室 <small>JR線、東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分</small>	参加費 <b>無料</b> 定員 <b>120名</b>
日時	2014年 <b>6月28日(土)</b> 13:30~16:00	

**趣 旨**

本学では、がん研究者・医療人は今後、より国際的な活躍が求められると考え、地域から世界まで俯瞰する力を持つがん研究者・医療人の養成を目指しています。そこで、この度は「グローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指して」をテーマにシンポジウムを開催することと致しました。

前半では特別講演として、猪口邦子先生より「グローバル時代にあるべき日本人像」を、山本忠通先生に「国際人としての目覚め：欧州から見た視点」をテーマにご講演頂きます。続く後半では、前半の特別講演をふまえた上で、世界で活躍するがん医療者・研究者を育成するにあたっての現状と課題について、パネリストの皆様それぞれの視点から討論を頂きます。

**特別講演 1**

**猪口 邦子**  
 参議院議員、元少子化担当大臣、元軍縮会議日本政府代表部特命全権大使  
**「グローバル時代にあるべき日本人像」**



**特別講演 2**

**山本 忠通**  
 駐ハンガリー特命全権大使、前ユネスコ日本政府代表部特命全権大使  
**「国際人としての目覚め：欧州から見た視点」**



パネル討論

**「世界で活躍する最先端の研究者育成に向けた日本の課題」**

司 会：齊藤 卓也 文部科学省 大臣官房 政策課評価室長

パネリスト：中川 英刀 独立行政法人 理化学研究所 統合生命医科学センターチームリーダー  
 山口 浩史 テキサス州立大学 MDアンダーソンがんセンター  
 渡辺 その子 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 総括上席研究官

コメンテーター：猪口 邦子  
 山本 忠通






主 催：先導的がん医療開発研究センター(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)  
<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

・ポスター

## タイムスケジュール

12:30 ▶▶ 受付開始

13:30 ▶▶ 開会 主催者挨拶：順天堂大学 学長 木南 英紀

13:40 ▶▶ 特別講演 座長：順天堂大学 医学部長 新井 一

特別講演 1 「グローバル時代にあるべき日本人像」

猪口 邦子 参議院議員、元少子化担当大臣、元軍縮会議日本政府代表部特命全權大使

特別講演 2 「国際人としての目覚め：欧州から見た視点」

山本 忠通 駐ハンガリー特命全權大使、前ユネスコ日本政府代表部特命全權大使

14:40 ▶▶ パネル討論 「世界で活躍する最先端の研究者育成に向けた日本の課題」

司会：齊藤 卓也 文部科学省 大臣官房 政策課評価室長

パネリスト：中川 英刀 独立行政法人 理化学研究所 統合生命医科学センターチームリーダー

山口 浩史 テキサス州立大学 MD アンダーソンがんセンター

渡辺 その子 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 総括上席研究官

コメンテーター：猪口 邦子、山本 忠通

15:50 ▶▶ 総括 順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学講座 教授 樋野 興夫

16:00 ▶▶ 閉会

### ■問い合わせ先

順天堂大学 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局

住所：〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 本郷・お茶の水キャンパス教務課(大学院担当)内

TEL：03-5802-1710 E-mail：ganpro@juntendo.ac.jp



## 4-6 順天堂大学シンポジウム「消化器がん化学療法シンポジウム」

---

### ■概要

#### (1) 名称

シンポジウム『消化器がん化学療法シンポジウム』

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年8月5日（火）13:00～15:00

開催場所：順天堂大学 10号館1階105CF

参加対象：医師、メディカルスタッフ等

#### (3) 演者、座長

座長 順天堂大学 消化器内科 教授 渡辺 純夫

1. 「胃がんの化学療法 日本の現状と課題」 順天堂大学消化器内科准 教授 芹澤 信子
2. 「膵がんに対する化学療法 update」 順天堂大学消化器内科先 任准教授 崔 仁煥
3. 「胃がん治療のアプローチ」 福建省腫瘍医院腹部腫瘍内科 教授 楊 建偉
4. 「ディスカッサント」 順天堂大学腫瘍内科学 教授 加藤 俊介

#### (4) 主催

順天堂大学

■資料

・ポスター

順天堂大学・復旦大学  
**消化器がん  
化学療法シンポジウム**

座長 渡辺純夫 消化器内科教授

講演1 芹澤信子 消化器内科准教授  
「胃がんの化学療法 日本の現状と課題」

講演2 崔 仁煥 消化器内科先任准教授  
「膵がんに対する化学療法 update」

講演3 楊 建偉 福建省腫瘍医院腹部腫瘍内科教授  
「胃がん治療のアプローチ」

ディスカッサント 加藤俊介 腫瘍内科学教授

消化器がんに対する化学療法の進歩は目覚ましく、患者の予後改善効果も著しい。  
今回順天堂大学に中国からの医師団が来日するにあたって、両施設から我が国と中国の  
胃がんと膵がんの化学療法の現状を紹介していただき、この分野の課題と今後の展望を  
論議したい。

**日時: 8月5日(火) 13:00~15:00**

**会場: 10号館 1階 105 カンファレンスルーム**

主催・お問合せ: 順天堂大学 消化器内科学講座

共催: がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

## 4-7 順天堂大学シンポジウム「A study of lung cancer covering local areas,the Tokyo metropolitan area, and Asia ~Update for lung cancer treatment~」

---

### ■概要

#### (1) 名称

国際シンポジウム『A study of lung cancer covering local areas,the Tokyo metropolitan area, and Asia ~Update for lung cancer treatment~』

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年11月27日（木）14:30～17:10

開催場所：順天堂大学 10号館1階105CF

参加対象：医師、メディカルスタッフ等

#### (3) 演者、座長

座長：順天堂大学 呼吸器内科学 教授 高橋 和久  
島根大学 内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威  
岩手医科大学 山内 広平  
鳥取大学 清水 栄治

演者：岩手医科大学 呼吸器・アレルギー・膠原病内科 助教 森川 直人  
島根大学 内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 助教 津端 由佳里  
鳥取大学 分子制御内科学 助教 牧野 晴彦  
順天堂大学 呼吸器内科学 大学院4年 FAriz Nurwdya

#### (4) 参加者の概要

参加者数：77名（ICT参加者含む）

#### (5) 主催

順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学

## ■資料

・ポスター

Promotion activity for training cancer professionals under the sponsorship of the MEXT, Japan

# A study of lung cancer covering local areas, the Tokyo metropolitan area, and Asia

**2014 International symposium** ~Update for lung cancer treatment~

November 27, 2014 (Thursday) 14:30 ~ 17:10  
Juntendo University School of Medicine Building no.10 1F Room no.105

## PROGRAM

**Opening address** 14:30~14:35  
Okio Hino M.D., Ph.D.  
Department pathology and oncology, Juntendo University School of Medicine

**Lecture** 14:35~16:35  
Chairperson : Kazuhisa Takahashi M.D., Ph.D. Takeshi Isobe M.D., Ph.D.

**1** Translational research and clinical trials of lung cancer in Iwate Medical University.  
14:35 ~14:55 Naoto Morikawa M.D., Ph.D.  
Division of Pulmonary Medicine, Allergy, and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Iwate Medical University School of Medicine.

**2** Molecular imaging and pharmacokinetic/pharmacodynamics study on human non-small cell lung cancer.  
14:55 ~15:15 Yukari Tsubata M.D., Ph.D.  
Department of Medical Oncology & Respiratory Medicine, Shimane University Faculty of Medicine

**3** The potency of EGFR nuclear translocation blockade as a new target of anti-cancer agent.  
15:15 ~15:35 Haruhiko Makino M.D., Ph.D.  
Division of Medical Oncology and Molecular Respiratory, Tottori University Faculty of Medicine

**4** The role of lung cancer stem cells in the resistance to EGFR-TKI in non-small cell lung cancer.  
15:35 ~15:55 Fariz Nurwidya M.D.  
Department of Respiratory Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine

**5** The present situation of lung cancer study in Asia.  
15:55 ~16:35 Thanyanan Reungwetwattana M.D., M.Sc.  
Division of Medical Oncology, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Thailand

**Pannel discussion** 16:35~17:05  
Chairperson : Kouhei Yamauchi M.D., Ph.D. Eiji Shimizu M.D., Ph.D.  
About future collaboration regarding research

**Closing address** 17:05~17:10  
Shunsuke Kato M.D., Ph.D.  
Department of Oncology, Juntendo University School of Medicine

mainly audience : pulmologists, medical oncologists,  
graduate students and the persons who are interested in lung cancer research and clinic.

**symposium** This symposium will connect the following facilities using ICT.  
**Mahidol University**, Iwate Medical University, Shimane University,  
Tottori University, Tokyo University of Science, Meiji Pharmaceutical University,  
Rikkyo University and Juntendo University School of Medicine

Sponsors : Leading center for the development and research of cancer medicine Juntendo University, Graduate School of medicine  
<http://ganpro-ict-plan.jp/index/html>

平成24年度文部科学省採択事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

# 地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究 ～最新の肺がん治療～

日時 平成26年11/27(木) 14:30～17:10 会場 順天堂大学 10号館1階105教室

本シンポジウムはICT接続により、  
右記の施設でもご覧いただけます。



接続予定校 マヒドン大学(タイ)、岩手医科大学、島根大学、  
鳥取大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学



プログラム	
<b>開会挨拶</b> — 14:30～14:35	順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学講座 教授 榎野 興夫
<b>講演</b> — 14:35～16:35	[座長] 順天堂大学 教授 高橋 和久 島根大学 教授 碓部 威
<b>1.</b> 「岩手医科大学における肺がんの橋渡し研究と臨床試験」	岩手医科大学 医学部 呼吸器・アレルギー・膠原病内科 助教 森川 直人
<b>2.</b> 「非小細胞肺癌の分子イメージングと臨床薬理学的検討」	島根大学 医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 助教 津端 由佳里
<b>3.</b> 「EGFR(上皮成長因子受容体)核内移行阻害による新たな抗がん治療開発の可能性について」	鳥取大学 医学部 分子制御内科学分野 助教 牧野 晴彦
<b>4.</b> 「非小細胞肺癌のEGFR-TKI耐性における肺がん幹細胞の役割」	順天堂大学 医学部 呼吸器内科学 大学院4年 Fariz Nurwidya
<b>5.</b> 「アジアの肺がん研究の現状」	タイ王立マヒドン大学 ラマティボディ病院 医学部 内科学 臨床腫瘍学講座 Thanyanan Reungwetwattana
<b>パネルディスカッション</b> — 16:35～17:05	[座長] 岩手医科大学 教授 山内 広平 鳥取大学 教授 清水 英治
	「今後の共同研究に向けて」
<b>閉会挨拶</b> — 17:05～17:10	順天堂大学 医学部 腫瘍内科学研究室 教授 加藤 俊介



## ACCESS

- 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
- JR「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口)徒歩約5分
- メトロ(丸ノ内線)「御茶ノ水」駅下車 徒歩約5分  
(千代田線)「新御茶ノ水」駅下車 徒歩約7分
- バス(東京駅北口-荒川土手)順天堂前下車  
(駒込駅南口-御茶ノ水駅)順天堂前下車

順天堂大学 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン (<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>)  
問い合わせ先 TEL: 03-5802-1710 E-mail: ganpro@juntendo.ac.jp

## 4-8 順天堂大学 特別講演会

---

### ■概要

#### (1) 名称

特別講演会 『臨床試験の質とは何か?』

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成27年3月6日（金）18:30～20:00  
開催場所：順天堂大学 センチュリータワー南棟8階  
参加対象：医師、メディカルスタッフ等

#### (3) 演者

演者：中央大学 教授／東京大学 名誉教授 大橋 靖雄

#### (4) 参加者の概要

参加者数：103名（ICT参加者含む）

#### (5) 主催

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（順天堂大学）

■資料

・ポスター

# がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 大橋 靖雄 教授 特別講演会

中央大学 理工学部人間総合理工学科教授、東京大学名誉教授で、がん領域のみならず多くの臨床試験や疫学研究にてご活躍されている大橋靖雄先生の講演会を開催致します。

年度末のご多忙の折ですが、ご参加いただければ幸いです。

## 「臨床試験の質とは何か？」

演者：大橋靖雄（中央大学 教授/東京大学 名誉教授）

- 日時： 2015年3月6日(金) 18:30 ~ 20:00
- 場所： センチュリータワー 南8階
- 主催： がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(順天堂大学)
- 協力： 臨床研究支援センター

### 大橋先生ご略歴

工学博士、生物統計家  
社団法人 日本臨床試験学会 代表理事、NPO法人日本臨床研究支援ユニット  
理事長、スタッコム株式会社取締役会長をはじめ、臨床試験分野にて多岐の活動を行う。2014年 朝日がん大賞 受賞。

### 【お問い合わせ先】

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局  
TEL: 03-5802-1710 MAIL: [ganpro@juntendo.ac.jp](mailto:ganpro@juntendo.ac.jp)

## 4-9 江津市民公開講座

---

### ■概要

#### (1) 名称

第2回江津市民公開講座 ～江津のがん医療のこれからを考えよう～

#### (2) 日時、場所

開催日時：平成27年2月1日（日）13:30～16:00

開催場所：江津総合市民センター

#### (3) 内容

第1部 講演会 13:30～16:00（江津総合市民センターホール）

開会の辞：医療法人社団 森医院 理事長 森 真爾 先生

座長：済生会江津総合病院 院長 堀江 裕 先生

1. 「食道がん」と「胃癌」 何が大切？－からないため、なおすため－（20分）

済生会江津総合病院 副院長 竹林 正孝

2. 「がんプロと日本のがん診療の話題」（15分）

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

3. 「元から絶たねば！ がんの危険因子」（20分）

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 助教 沖本 民生

4. 「進化し続ける抗がん剤治療-がん薬物療法専門医が語る-」（20分）

島根大学医学附属病院 呼吸器・化学療法内科 助教 津端 由佳里

第2部 個別相談 15:00～16:00（江津総合市民センター2階 大会議室）

#### (4) 参加者の概要

参加者数：123名

#### (5) 主催

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（島根大学）

#### (6) 共催／後援

済生会江津総合病院／江津市・江津市医師会

■資料

・ポスター

## 第2回 江津市民公開講座

～江津のがん医療のこれからを考えよう～

**と き：** 平成27年2月1日(日)  
13:30～16:00

**と ころ：** 江津総合市民センター



**第1部 講演会 13:30～15:00**  
会場：江津総合市民センターホール

開会の辞：医療法人社団 森医院 理事長 森 眞爾先生  
座長：済生会江津総合病院 院長 堀江 裕先生

1. 「食道がん」と「胃癌」  
何が大切？—かからないため、なおすため— (20分)  
済生会江津総合病院 副院長 竹林 正孝先生
2. 「がんプロと日本のがん診療の話題」 (15分)  
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学  
教授 磯部 威先生  
—休憩10分—
3. 「元から絶たねば！ がんの危険因子」 (20分)  
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学  
助教 沖本 民生先生
4. 「進化し続ける抗がん剤治療—がん薬物療法専門医が語る—」 (20分)  
島根大学医学附属病院 呼吸器・化学療法内科  
助教 津端 由佳里先生

**第2部 個別相談 15:00～16:00**  
会場：大会議室（江津総合市民センター2階）

講師の先生がブースに分かれ、個別相談を受け付けます。



主催： がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
共催/後援：済生会江津総合病院/江津市・江津市医師会  
お問合せ：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局  
電話：0853-20-2576（平日9:00～16:00） FAX：0853-20-2580  
E-mail： ganpro@med.shimane-u.ac.jp

## 4-10 トランスレーショナルリサーチセミナー

---

### ■概要

#### (1) 名称

トランスレーショナルリサーチセミナー

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成27年2月3日（火）17:30～20:30

開催場所：島根大学医学部附属病院みらい棟2階 共通カンファレンス室1

#### (3) 内容

##### ① トランスレーショナルリサーチセミナー

『COPD 治療における臨床的な課題』

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

『肺がんに関する最近の知見について』

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・化学療法内科 助教 津端 由佳里

##### ② 東京理科大学の研究についての発表

『凍結乾燥技術を用いた新規粉末吸入システムの開発』 東京理科大学 教授 山下 親正

『新規肺胞再生治療薬の開発』 東京理科大学 助教 堀口 道子

『新規肺がん幹細胞モデルの作製、肺がん同所移植モデルの検討』 東京理科大学 修士課程2年 軽部 皓充

##### ③ ディスカッション

#### (4) 参加者の概要

参加者数：18名

## ■資料

・ポスター

### がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン ＜ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン＞ 第1回トランスレーショナルリサーチセミナー開催報告

＝開催概要＝

日時：平成27年2月3日(火)17:30～20:30

場所：島根大学医学部附属病院みらい棟2階 共通カンファレンス室1

対象：東京理科大学 教授 山下親正先生、助教 堀口道子先生、  
東京理科大学 修士2年 軽部皓充さん  
島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科医局員(14名)

＝プログラム＝

17:30～18:20 トランスレーショナルリサーチセミナー

司会：島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 講師 須谷 顕尚

『COPD治療における臨床的な課題』(20分・質疑応答5分)

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

『肺がんに関する最近の知見について』(20分・質疑応答5分)

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 助教 津端 由佳里

18:20-休憩(10分)

18:30～19:45 東京理科大学の研究についての発表

司会：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

『凍結乾燥技術を用いた新規粉末吸入システムの開発』(30分)

東京理科大学 教授 山下親正

『新規肺胞再生治療薬の開発』(30分)

東京理科大学 助教 堀口道子

『新規肺がん幹細胞モデルの作製、肺がん同所移植モデルの検討』(15分)

東京理科大学 修士2年 軽部皓充

19:45～20:30 ディスカッション



本件連絡先

島根大学医学部がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室

電話：0853-20-2576 FAX：0853-20-2580

## 4-11 島根大学がんプロ事業中間報告

### ■概要

#### (1) 名称

島根大学がんプロ事業中間報告

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成27年3月6日（火）18:00～21:00  
 開催場所：島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー  
 対象：島根大学キャンパス内大学院生・インテンシブコース生・職員他  
 TV会議配信：島根県済生会江津総合病院、町立出雲病院

#### (3) 内容

第1部：事業報告 島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

第2部：シンポジウム ～島根大学のミッションは遂行できたか

司会：島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

##### ① がん医療教育の充実

「緩和ケア講座の現状と将来展望」 島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

##### ② 地域貢献

「がんプロと地域貢献」 町立出雲病院 副院長 鈴木 賢二

「がんプロとチーム医療」 島根県済生会江津総合病院 副看護師長 大濱 理砂

第3部：パネルディスカッション～島根、山陰地区におけるがんプロの今後～

（化学療法、放射線、緩和ケア、婦人科がん、高齢者のがん）治療における地域連携について

司会：島根大学医学部 緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦

島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

パネリスト：

出雲市立総合医療センター 病院事業管理者 雫 稔弘

島根大学医学部附属病院 地域医療連携センター長・耳鼻咽喉科 教授 川内 秀之

島根大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典

島根大学医学部 産科婦人科 教授 京 哲

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 助教 津端 由佳里

閉会の辞：島根大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典

#### (4) 参加者の概要

参加者数：34名

■資料

・ポスター

文部科学省大学改革推進事業  
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
〈ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン〉  
**島根大学がんプロ事業中間報告会**

日時：平成27年3月6日（金）18：00～21：00

会場：島根大学医学部附属病院 みらい棟4階ギャラクシー

総合司会：島根大学医学部 緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦  
開会の辞：島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威  
ご挨拶：島根大学医学部 医学部長 大谷 浩  
ご挨拶：島根大学医学部附属病院 病院長 井川 幹夫

ご講演：「地域の最先端病院として」病院長 井川 幹夫

第1部：事業報告 18:15-18:45

島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威 (30分)

第2部：シンポジウム 18:45-19:30 ～島根大学のミッションは遂行できたか～

司会：島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

①がん医療教育の充実

「緩和ケア講座の現状と将来展望」

島根大学医学部 緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦 (15分)

②地域貢献

「がんプロと地域貢献」

町立奥出雲病院 副院長 鈴木 賢二 (15分)

「がんプロとチーム医療」

島根県済生会江津総合病院 副看護師長 大瀨 理砂 (15分)

第3部：パネルディスカッション 19:40-20:40

～島根、山陰地区におけるがんプロの今後～

(化学療法、放射線、婦人科がん、高齢者のがん) 治療における地域連携について (60分)

司会：島根大学医学部 緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦

島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

パネリスト：

出雲市立総合医療センター

病院事業管理者 粟 稔弘

島根大学医学部附属病院 地域医療連携センター長・耳鼻咽喉科

教授 川内 秀之

島根大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学

教授 猪俣 泰典

島根大学医学部 産科婦人科

教授 京 哲

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科

助教 津端 由佳里

閉会の辞：島根大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典

博士課程選択科目：臨床腫瘍学V (32)、臨床腫瘍学VI (33)、地域がん治療学 (37-1)、  
がん医療社会学 (37-3)、臓器病態学Ⅲ (65)、薬物動態学Ⅰ (70)、感染症学Ⅰ (83)

報告会終了後、附属病院2階のラバンにて「懇親会」を企画しております。

会費：1000円 (当日徴収) 参加を希望される方は、2月27日までに下記へご連絡ください。

【本件連絡先】

島根大学医学部 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室

電話：0853-20-2576 FAX：0853-20-2580 メール：ganpro@med.shimane-u.ac.jp

## 4-12 島根大学 がんプロチーム医療 TV カンファレンス-Multi - disciplinary team conference-

---

### ■概要

#### (1) 名称

がんプロ医療 TV カンファレンス

#### (2) 第1回

開催日時：平成26年6月25日（水）19:00～20:00

参加大学：島根大学、済生会江津総合病院、出雲市立総合医療センター、町立奥出雲病院

#### (3) 第2回

開催日時：平成26年9月17日（水）19:00～20:00

参加大学：島根大学、済生会江津総合病院、出雲市立総合医療センター、町立奥出雲病院

#### (3) 第3回

開催日時：平成26年11月19日（水）19:00～20:00

参加大学：島根大学、済生会江津総合病院、出雲市立総合医療センター、町立奥出雲病院

## 4-13 島根大学 山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース 夏季セミナー

---

### ■概要

#### (1) 名称

山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース 夏季セミナー

#### (2) 日時、場所

開催日時：平成26年8月31日（日）8:30～16:15（8:15～受付）

開催場所：島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー

鳥取大学医学部がんセンターキャンサーボード

#### (3) 参加者の概要

参加施設：島根大学、鳥取大学、鳥取市立病院、鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、済生会江津総合病院、  
町立奥出雲病院

参加者数：40名

#### (4) 主催

島根大学、鳥取大学

※ 浜田医療センター、出雲市立総合医療センターからの出席者が少なくTV会議システムの操作が不慣れなため  
受講者は済生会江津総合病院会場、島根大学会場から受講していただきました

## ■資料

・ポスター

平成26年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
**山陰がん認定医療スタッフ育成コース**  
**(インテンシブ) 夏季セミナー** 参加費無料

**平成26年8月31日 (日)**

8:30~16:30 (8:15~受付)

日時

配信会場

鳥取大学医学部附属病院がんセンター  
 島根大学医学部みらい棟4階ギャラクシー

接続会場

町立奥出雲病院、済生会江津総合病院 他予定

講師

★今年度はTV会議システムを使用して同時配信  
 いたします

鳥取大学医学部・島根大学医学部  
 インテンシブコースコーディネーター

★詳細は講義スケジュールをご確認ください

★当日テキストを  
 配布いたします。  
 ★昼食は各自ご用意  
 ください



**問合せ先**

鳥取大学医学部学務・研究課教務係

〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地 電話：0859-38-7098 FAX：0859-38-7029

島根大学医学部 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 電話：0853-20-2576 FAX：0853-20-2580

## 4-14 鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコースセミナー

---

### ■概要

(1) 名称

山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコースセミナー

(2) 日時、場所

開催日時：平成26年9月8日（月）14:30～15:30

開催場所：鳥取大学医学部アレスコ棟6階261講義室

(3) 内容

『乳がん看護にたずさわる看護職集団への教育・指導の極意』

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター 認定看護師教育課程（乳がん看護）

特任准教授 阿部 恭子

(4) 参加者の概要

参加者数：25名

(5) 主催

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（鳥取大学）

■資料

・ポスター

**山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース  
セミナーのご案内**

謹啓

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、下記要領にて「公開セミナー」を開催させて頂く運びとなりました。

ご参集の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時:平成26年9月8日(月) 14:30~15:30

会場:鳥取大学医学部アレスコ棟 6階 261 講義室

参加費無料:事前申込み不要

**『乳がん看護にたずさわる看護職集団への  
教育・指導の極意』**

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター

認定看護師教育課程(乳がん看護)

特任准教授 阿部 恭子 先生

主催:がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

鳥取大学医学部附属病院がんセンター

共催:看護師キャリアアップセンター

## 4-15 岩手医科大学 対話 café

---

### ■概要

(1) 名称

岩手医科大学 対話 café

(2) 第1回

開催日時：平成26年7月30日（水）14:00～15:30

(3) 第2回

開催日時：平成26年8月27日（水）14:00～15:30

(4) 第3回

開催日時：平成26年9月24日（水）14:00～15:30

(5) 第4回

開催日時：平成26年10月22日（水）14:00～15:30

(6) 第5回

開催日時：平成26年11月26日（水）14:00～15:30

(7) 第6回

開催日時：平成26年12月24日（水）14:00～15:30

(8) 第7回

開催日時：平成27年1月28日（水）14:00～15:30

(9) 第8回

開催日時：平成27年2月25日（水）14:00～15:30

(10) 第9回

開催日時：平成27年3月25日（水）14:00～15:30

## 4-16 岩手医科大学 キッズがんセミナー

---

### ■概要

#### (1) 名称

岩手医科大学「キッズがんセミナー」

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年8月4日（月）10:00～16:00

開催場所：岩手医科大学創立60周年記念館9階第2講義室  
矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センター

参加対象：①岩手県内の小学5、6年生30名と同伴の父兄  
②大学院生、インテンシブコース受講生、医師、看護師、他

#### (3) 内容

1. オリエンテーション
2. 基礎講義「がんについて」
3. 病院見学（手術室、調剤室、放射線治療、臨床病理教室）  
※小学生の病院見学中に行う、父兄（母親）プログラム  
乳がんレクチャー：乳がんとは、検診、治療法  
子宮がんレクチャー：子宮がんとは、予防、検診、治療法
4. 体験セミナー（矢巾キャンパス）
  - a) 「麻酔をかけてみよう！全身麻酔体験」
  - b) 「君もブラックジャックだ！外科手術コーナー」
  - c) 「自分の体の中を見てみよう！超音波検査・内視鏡検査体験コーナー」
  - d) 「抗がん剤の調剤にチャレンジだ！調剤体験コーナー」
5. 修了式 『キッズがんサポーター』認定書交付

※「4. 体験セミナー」「5. 修了式」は、がんプロフェッショナル養成基盤推進事業ではなく、岩手医科大学の事業として実施しました。

■資料

・報告書

『キッズキャンサーセミナー』

日時：平成26年8月4日（月）10時00分～16時00分  
 会場：岩手医科大学創立60周年記念館9階 第2講義室  
 矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センター  
 主催：岩手医科大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
 対象：①岩手県内の小学5、6年生30名と同伴の父兄  
 ②大学院生、インテンシブコース受講生、医師、看護師、他  
 ※病院見学、体験セミナーは①のみ対象  
 参加者：41名

内容

1. オリエンテーション

講師：緩和医療学科 木村 祐輔 氏

2. 基礎講義「がんについて」

講師：緩和医療学科 木村 祐輔 氏、薬剤部 佐藤 淳也 氏、  
 附属病院 管理栄養士 菅原 侑子 氏 高度看護研修センター 長澤 昌子 氏、

3. 病院見学（手術室、調剤室、放射線治療、臨床病理教室）

※小学生の病院見学中の父兄（母親）プログラム  
 乳がんレクチャー：乳がんとは、検診、治療法  
 子宮がんレクチャー：子宮がんとは、予防、検診、治療法

【バス移動 内丸→矢巾（昼食）】

4. 体験セミナー

a) 「麻酔をかけてみよう！全身麻酔体験」

講師：医学教育学科 相澤 純 氏

b) 「君も明日からブラックジャックだ！外科手術コーナー」

講師：緩和医療学科 木村 祐輔 氏、外科学講座 片桐 弘勝 氏

c) 「自分の体の中を見てみよう！超音波検査・内視鏡検査体験コーナー」

講師：消化器内科消化管分野 山本 一成 氏

d) 「抗がん剤の調剤にチャレンジだ！調剤体験コーナー」

講師：薬剤部 佐藤淳也 氏

5. 修了式

『キッズキャンサーサポーター』認定証交付



・「キッズがんセミナー」の様子



## 4-17 岩手医科大学 『平成26年度北東北がん医療コンソーシアム総会・講演会』

### ■概要

#### (1) 名称

岩手医科大学「北東北がん医療コンソーシアム総会・講演会」

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年8月4日（月）12:00～

開催場所：盛岡地域交流センター・マリオス 18階会議室

参加対象：北東北がん医療コンソーシアム関係機関、大学院生  
インテンシブコース受講生、医師、看護師等

#### (3) 内容

##### 1. 北東北がん医療コンソーシアム総会

##### 2. 講演・パネルディスカッション

- 1) 講演：「地域の第2次がん対策推進計画の進め方 ―多様な連携強化による総合力の向上―  
講師：国立保健医療科学院統括研究官 今井 博久

2) パネルディスカッション

パネリスト：(岩手県)「第2次岩手県がん対策推進計画の進捗状況について」

岩手県保健福祉部 医療政策室・医師支援推進室室長 野原 勝

(秋田県)「秋田県がん対策推進計画について」

秋田県がん対策室長 須田 広悦

(青森県)「第2期青森県がん対策推進計画について」

青森県がん・生活習慣病対策課課長 工藤 俊幸

司会：岩手医科大学 内科学講座（血液・腫瘍内科分野） 准教授 伊藤 薫樹

コメンテーター：国立保健医療科学院統括研究者 今井 博久

岩手医科大学 緩和医療学科 教授 木村 祐輔

秋田大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学講座 教授 柴田 浩行

弘前大学放射線科学講座 教授 高井 良尋

岩手県立大学看護学部 教授 菊池 和子

#### (4) 参加者の概要

参加者数：45名

## ■資料

・ポスター

## 講演会

## 【日時】

平成26年8月10日(日)13:00～

## 【場所】

盛岡地域交流センター マリオス

18階会議室

(岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目9-1)

## 【対象】

北東北がん医療コンソーシアム関係機関、大学院生、インテンシブコース受講生、医師、看護師等

## 【プログラム】

## 第一部(13:00～) 講演会

演題:「地域の第二次がん対策推進計画の進め方ー多様な連携強化による総合力の向上ー」

講師:今井 博久 氏(国立保健医療科学院 統括研究官)

司会:人見 次郎 氏(岩手医科大学医学部副学部長)

## 第二部(14:00～)パネルディスカッション

パネリスト:野原 勝 氏

(岩手県保健福祉部医療政策室・医師支援推進室室長)

須田 広悦 氏(秋田県保健福祉部健康推進課がん対策室長)

工藤 俊幸 氏(青森県がん・生活習慣病対策課 課長)

司会:伊藤 薫樹 氏

(岩手医科大学内科学講座(血液・腫瘍内科分野) 准教授)

コメンテーター:今井 博久 氏(国立保健医療科学院 統括研究官)

木村 祐輔 氏(岩手医科大学緩和医療学科 教授)

柴田 浩行 氏

(秋田大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学講座 教授)

高井 良尋 氏(弘前大学放射線科学講座 教授)

菊池 和子 氏(岩手県立大学看護学部 教授)

フロアコメンテーター

## 【定員】

100名(参加無料、予約不要)

## 【主催】

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)

## 【共催】

北東北がん医療コンソーシアム

## 【お問合せ】

岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL:019-651-5111(内線3111) E-mail:ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

平成26年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

「北東北3県の第二次がん対策推進計画の概要と広域がん医療連携に求められるもの」

## 4-18 東京理科大学 「アカデミック・ディテリング・データベース部門シンポジウム」

---

### ■概要

#### (1) 名称

東京理科大学「アカデミック・ディテリング・データベース部門シンポジウム」

#### (2) 日時、場所

開催日時：平成26年9月6日（土）14:00～17:10  
開催場所：東京理科大学薬学部 16号館 1611教室

#### (3) 講演

1. 「乳がん分野における薬剤師への期待」 順天堂大学乳腺内分泌外科 教授 齊藤 光江
2. 「国立がん研究センター東病院におけるアカデミック・ディテリング  
～医師と薬剤師とのチーム医療の経験から～」 がん研究センター東病院肝胆膵内科長 池田 公史
3. 「アカデミック・ディテリングとは」 昭和薬科大学教授 医療薬学教育研究センター長 山本 美智子
4. 「薬剤師の専門性を発揮するシステム開発 ～アロクロス G・DAT とは～」  
株式会社ユニケソフトウェアリサーチ顧問 アロクロス開発担当（薬学博士） 寺下 真人
5. 「オーストラリアにおけるアカデミック・ディテリング活動」  
総合研究機構アカデミック・ディテリング・データベース部門講師 佐藤 嗣道
6. 「アカデミック・ディテリング・データベース部門の展開」  
総合研究機構アカデミック・ディテリング・データベース部門教授 小茂田 昌代

#### (4) 参加者の概要

参加者数：110名

#### (5) 主催

東京理科大学薬学部

## ■資料

・ポスター

東京理科大学総合研究機構アカデミック・ディテリング・データベース部門主催  
東京理科大学薬学部基礎実務研修プログラム共催

## アカデミック・ディテリング・データベース開発とは ～薬剤師の専門性発揮を支援～

2014年9月6日(土)

東京理科大学薬学部16号館1611教室

14:00

挨拶 アカデミック・ディテリング・データベース部門長 青山 隆夫

## 基調講演

14:05～14:35

1. 乳がん分野における薬剤師への期待 順天堂大学乳腺内分泌外科 教授  
齊藤 光江 先生

14:35～15:05

2. 国立がん研究センター東病院における医薬品情報提供  
～医師と薬剤師とのチーム医療の経験から～ (仮題)  
がん研究センター東病院  
肝胆膵内科長  
池田 公史 先生

15:05～15:35

3. アカデミック・ディテリングとは 昭和薬科大学教授  
医療薬学教育研究センター長  
山本美智子 先生

15:35～16:05

4. 薬剤師の専門性を発揮するシステム開発 ～アロクロスとは～  
株式会社ユニケソフトウェアリサーチ顧問  
アロクロス開発担当(薬学博士)  
寺下 真人 先生

## 部門報告

16:20～16:35

オーストラリアにおけるアカデミック・ディテリング活動  
総合研究機構アカデミック・ディテリング・データベース部門講師 佐藤 嗣道

16:35～16:50

アカデミック・ディテリング・データベース部門の展開  
総合研究機構アカデミック・ディテリング・データベース部門教授 小茂田 昌代

## 総合討論

16:50～17:10

懇親会 薬学部「みなも」

17:10～18:30

## 問い合わせ先、参加申込

東京理科大学薬学部 医療安全学研究室  
小茂田 昌代(こもだ まさよ)  
〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641  
TEL&FAX 04-7121-4134(直通)

## 4-19 東京理科大学「第30回薬学講座」

---

### ■概要

#### (1) 名称

東京理科大学「第30回薬学講座」

#### (2) 日時、場所

開催日時：平成26年10月18日（土）10:30～17:00

開催場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 1号館 17階記念講堂

#### (3) 講演

1. 「漢方エキス製剤の副作用解析」 筑波大学 医学医療系臨床薬剤学教授・附属病院薬剤部長 本間 真人
2. 「知って得する飲みやすい薬の豆知識」 静岡県立大学 薬学部臨床薬学大講座実践薬学分野・薬食生命科学総合学府薬学研究院実践薬学教室 教授 並木 徳之
3. 「ドーパ伝達物質仮説」 横浜市立大学 理事・副学長  
大学院医学研究科分子薬理神経生物学教室 教授 五嶋 良郎
4. 「血中薬物濃度測定法の基礎と抗がん薬のTDM」 東北大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長 眞野 成康

#### (4) 参加者の概要

参加者数：75名

#### (5) 主催

東京理科大学薬学部

## ■資料

・ポスター

・日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の単位認定（シール）が不要の場合、事前申し込みは必要ありません。

## 第30回 薬学講座 開催要項

期 日	平成26年10月18日（土）
時 間	10:30～17:00（10:00 受付開始）
定 員	240名
場 所	東京理科大学神楽坂キャンパス1号館17階（記念講堂）
主 催	東京理科大学薬学部
共 催	東京理科大学生涯学習センター 東京理科大学薬学部同窓会 公益財団法人日本薬剤師研修センター 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

### ● プログラム ●

10:30～10:35	開会の辞	実行委員長 東 達也
10:35～10:40	学部長挨拶	東京理科大学 薬学部長
10:40～11:50	「漢方エキス製剤の副作用解析」 筑波大学 医学医療系臨床薬剤学教授・附属病院薬剤部長 本間 真人	
12:50～14:00	「知って得する飲みやすい薬の豆知識」 静岡県立大学 薬学部臨床薬学大講座実践薬学分野・ 薬食生命科学総合学府薬学研究院実践薬学教室 教授 並木 徳之	
14:15～15:25	「ドーパ伝達物質仮説」 横浜市立大学 理事・副学長 大学院医学研究科分子薬理神経生物学教室 教授 五嶋 良郎	
15:40～16:50	「血中薬物濃度測定法の基礎と抗がん薬のTDM」 東北大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長 眞野 成康	
16:50	閉会の辞	東 達也

### ● 講座のお申し込みについて ●

今回の薬学講座は公益財団法人日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象研修会であり、参加される場合は3単位の修得となります。単位認定を希望する方は事前に東京理科大学生涯学習センターHP（<https://manabi.tus.ac.jp>）からお申し込みください（インターネットをご使用にされない方は下記へご連絡ください）。受付期間は平成26年8月25日（月）から平成26年10月7日（火）までとさせていただきます。なお、単位認定が不要な方の事前申込は必要ありません。

### ● お問い合わせ先 ●



東京理科大学生涯学習センター  
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3  
TEL: 03-3267-9462 FAX: 03-3267-2048  
E-mail: manabi@admin.tus.ac.jp  
URL: <https://manabi.tus.ac.jp>

## 4-20 明治薬科大学 ICT 特別講演会

---

### ■概要

#### (1) 名称

- 第1回「中性子捕捉療法の原理とがん医療への展開」
- 第2回「中性子捕捉療法に向けたドラッグデリバリーシステムの応用」

#### (2) 日時、場所、対象

- 開催日時：第1回 平成26年9月17日（水）18:30～19:30
- 第2回 平成27年1月21日（水）18:30～19:30
- 開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス フロネシス棟 8211 教室
- 参加対象：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加大学学生・大学院生・教員

#### (3) 演者

- 明治薬科大学 がん先端治療学：アルファ粒子線・免疫治療学教室 教授 柳衛 宏宣

#### (4) 参加者の概要

- 参加者数：第1回目 30名
- 第2回目 25名

#### (5) 主催

- 明治薬科大学

## ■資料

・ポスター



## がんプロフェッショナル養成基盤事業 ICT特別講演会のお知らせ

柳衛宏宣先生は本学の寄付講座「がん先端治療学:アルファ粒子線・免疫治療学教室」教授で、中性子捕捉療法(Neutron Capture Therapy:NCT)をアメリカより導入され、京都大学原子炉実験所および日本原子力研究開発機構炉で臨床試験を実施されています。NCTは、それ自体には癌細胞への細胞障害効果を持たないボロン( $^{10}\text{B}$ )やガドリニウム( $^{157}\text{Gd}$ )化合物を熱中性子とがん細胞の中で反応させ、ボロンの場合は $\alpha$ 線で、ガドリニウムの場合は $\gamma$ 線と電子線により約数mmの限定的細胞障害効果を発現します。NCTによるDNA障害は耐性機序を作れないため新規の粒子線治療として期待されています。先生は、日本のNCT療法の第一人者で、現在、癌細胞選択的に送達される新規 $^{10}\text{B}/^{157}\text{Gd}$ 中性子捕捉化合物の開発を行っています。ホウ素中性子捕捉療法(Boron Neutron Capture Therapy:BNCT)の治療対象は悪性脳腫瘍等を対象として行われましたが、現在、世界的に症例数が多い肝臓癌、肺癌、再発乳癌、消化器系癌などへの応用も始まったところです。今回のがんプロICT特別講演会では、最先端を進む中性子捕捉療法の概説と、新規 $^{10}\text{B}/^{157}\text{Gd}$ 中性子捕捉剤及びドラッグデリバリーシステムの開発について2回に分けてわかり易くお話しただけます。

### 第1回

**演題** 中性子捕捉療法の原理とがん治療への展開

**演者** 柳衛宏宣 先生

寄付講座「がん先端治療学:アルファ粒子線・免疫治療学教室」教授

**日時** 平成26年9月17日(水曜日)午後6:30から7:30

**場所** 明治薬科大学清瀬キャンパス、フロネシス棟8211教室

### 第2回

**演題** 中性子捕捉療法に向けたドラッグデリバリーシステムの応用

**演者** 柳衛宏宣 先生

寄付講座「がん先端治療学:アルファ粒子線・免疫治療学教室」教授

**日時** 平成27年1月21日(水曜日)午後6:30から7:30

**場所** 明治薬科大学清瀬キャンパス、フロネシス棟8211教室

主催 大学院がんプロフェッショナル養成基盤事業  
連絡先 本学教務部、大学院担当 grad@my-pharm.ac.jp

## 4-21 明治薬科大学 がんプロ公開講座

---

### ■概要

(1) 名称

「がんの薬物療法と薬剤師」

(2) 日時、場所、対象

開催日時：平成26年10月18日（土）  
開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス  
参加対象：病院・薬局・学校、一般の方

(3) 演者

独立行政法人国立がん研究センター東病院 薬剤部長 齊藤 真一郎

(4) 参加者の概要

参加者数：87名

(5) 主催

明治薬科大学

## ■資料

・ポスター



**平成26年度**

# 明治薬科大学明薬祭特別講演

日時：平成26年10月18日(土)  
13時00分～14時30分(受付開始12時30分)

会場：明治薬科大学講義棟1階 104 講義室  
(入場無料・申し込み不要・定員150名)

## がんの薬物療法と薬剤師

「がん＝怖い病気」というイメージは依然として強く、「抗がん剤」は副作用が強いことから治療を受けたくないと思われる方も多いと思います。現在は、がんの治療に対する吐き気や白血球減少などの副作用対策薬が進歩したことから、入院しなくても外来で抗がん剤の治療を受けて帰宅する時代になりました。薬の副作用を正しく理解し、がん患者さんに対する病院薬剤師の取り組みについて紹介します。

**講師：齊藤 真一郎 先生**  
国立がん研究センター東病院 薬剤部長

主催：明治薬科大学 公開講座・シンポジウム委員会  
協賛：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業

URL：<http://www.my-pharm.ac.jp>

**10月18日(土)・19日(日)は、明薬祭開催中です。**

問い合わせ先：〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1  
明治薬科大学 広報課  
TEL 042-495-8615(直通)

交通：■西武池袋線秋津駅より正門まで徒歩12分  
■JR武蔵野線新秋津駅より正門まで徒歩17分  
■タクシーにご乗車の際は、西武池袋線清瀬駅、JR武蔵野線新秋津駅をご利用ください。  
■清瀬市コミュニティーバス きよバスで「明治薬科大学」又は「第四小学校西」バス停下車すぐ。



## 4-22 明治薬科大学 がんプロ講演会

---

### ■概要

(1) 名称

- 第一部：『アメリカにおける薬剤師教育～臨床現場でどう学ぶか  
～Pharm.D.プログラムからレジデンシー制度まで～』  
第二部：『前立腺がん治療最前線～がん専門薬剤師による経口腫瘍薬の管理～』

(2) 日時、場所、対象

- 開催日時：平成26年10月21日（火）  
開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス  
参加対象：学部学生、大学院生、教員、学外薬剤師ほか医療関係者

(3) 演者

大友千絵子 Pharm.D.,BCOP

(4) 参加者の概要

参加者数：14名

(5) 主催

明治薬科大学

■資料

・ポスター



## がんプロフェッショナル養成基盤推進事業 講演会のお知らせ

### 米国の臨床薬剤師の教育と臨床活動

第一部 『アメリカにおける薬剤師教育：学部教育から  
レジデンシー制度まで』

第二部 『前立腺がん治療最前線～がん専門薬剤師  
による経口腫瘍薬の管理～』

大友千絵子 Pharm.D., BCOP

Kaiser Permanente San Diego Medical Center  
Ambulatory Care Pharmacist-Hematology/Oncology

日時 平成26年10月21日(火曜日)  
午後4時から6時まで

場所 明治薬科大学清瀬キャンパス  
講義棟2階 203教室

大友さんは本学を平成12年に卒業し、その後米国でも薬学部を卒業しPharmDの学位と薬剤師資格を取得した後、現在米国の病院で臨床薬剤師として活躍されています。今回、先生の一時帰国に合わせて講演会を企画しました。学生および教員の皆さまの積極的な参加を期待しています。

主催 大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進事業  
海外医療研修コース  
連絡先 薬物治療学 越前宏俊 [echizen@my-pharm.ac.jp](mailto:echizen@my-pharm.ac.jp)  
教務課大学院係

## 4-23 明治薬科大学 がんプロ講演会

---

### ■概要

#### (1) 名称

第1回 「Pharmacotherapy of Breast Cancer」

第2回 「Supportive Care for Patients Undergoing Cancer Chemotherapy」

#### (2) 日時、場所、対象

開催日時：第1回 平成27年1月7日（水）13:10～14:30

第2回 平成27年1月10日（土）14:00～16:00

開催場所：明治薬科大学 清瀬キャンパス

参加対象：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業参加大学学生・大学院生・教員

#### (3) 演者

Dr. Scott Wirth, Pharm.D., BCOP

Clinical Assistant Professor, Dept. Pharmacy Practice

Clinical Pharmacist, Oncology

University of Illinois at Chicago College of Pharmacy

#### (4) 参加者の概要

参加者数：第1回目 310名

第2回目 52名

#### (5) 主催

明治薬科大学

## ■資料

・ポスター



## がんプロフェッショナル養成基盤事業 講演会のお知らせ

Scott Wirth先生は、イリノイ大学シカゴ校薬学部でがん治療領域の臨床薬剤師として活躍されています。このたび、学部学生、大学院生、教員を対象に、がん薬物治療に関連のある講演会を2日間にわたり企画しました。皆さん奮ってご参加下さい。



Dr. Scott Wirth, Pharm.D., BCOP  
Clinical Assistant Professor, Dept. Pharmacy Practice  
Clinical Pharmacist, Oncology  
University of Illinois at Chicago College of Pharmacy

-第1回-

### Pharmacotherapy of Breast Cancer

日時：平成27年1月7日（水）13:10-14:30

場所：明治薬科大学清瀬キャンパス フロネシス棟 8112教室

-第2回-

### Supportive Care for Patients Undergoing Cancer Chemotherapy

日時：平成27年1月10日（土）14:00-16:00

場所：明治薬科大学清瀬キャンパス 101教室

主催	大学院がんプロフェッショナル養成基盤事業 海外医療研修コース
連絡先	薬物治療学 越前宏俊 教務部、大学院担当

## 4-24 立教大学 医学物理セミナー

---

### ■概要

#### (1) 名称

2014年度立教大学医学物理セミナー

#### (2) 第1回

講演題目：米国臨床医学物理レジデント研修と重粒子千治療

開催日時：平成26年5月9日（金）16:40～18:10

開催場所：立教大学4号館4408号室

講師：群馬大学医学研究科・重粒子線医学研究センター 齋藤 明登

参加者数：10名

#### (3) 第2回

講演名称：医療新規技術の商業化・起業家について

開催日時：平成26年7月11日（金）18:30～21:00

開催場所：立教大学4号館4408号館

講師：株式会社360ip 中野 護

参加者数：10名

#### (4) 第3回

講演名称：順天堂大学における医学物理士養成について

開催日時：平成26年12月8日（月）18:20～20:00

開催場所：立教大学4号館4407号室

講師：順天堂大学医学部放射線医学洋室放射線治療学講座 助教 黒河 千恵

参加者数：6名

#### (5) 第4回

講演名称：がん疼痛治療と医療用麻薬の適正使用

開催日時：平成27年1月15日（木）18:20～20:00

開催場所：立教大学4号館4407号室

講師：東京理科大学薬学部薬学科 吉澤 一巳

参加者数：5名

■資料

・ポスター（4回分）

### 2014年度第1回 立教大学医学物理セミナー

講演題目：米国臨床医学物理レジデント研修と重粒子線治療

講演者： 群馬大学大学院医学系研究科  
群馬大学重粒子線医学研究センター 齋藤明彦

日時： 2014年5月9日 16:40-18:10  
場所： 立教大学4号館4408号室

講演概要：  
米国 Washington University in St. Louis における臨床医学物理レジデント研修および群馬大学における重粒子線治療とその研究について紹介します。米国の臨床医学物理レジデント研修は非常に良く確立された制度であり、日本でも同様の教育・研修システムの構築の動きが近年盛んになってきています。私が研修を修了した Washington University in St. Louisは、現在最も厳しい研修プログラムが実施される施設として知られています。講演の前半は、放射線治療の基本的な内容について簡単に説明し、レジデント研修の具体的な内容（X線・電子線、小線源、陽子線等）について紹介します。後半は、現在私が在籍する群馬大学重粒子線医学研究センターについて、粒子線治療の基礎的な部分から、X線や陽子線との比較を交えながら紹介します。以上の内容を、分野間の文化の違いに関する私なりの分析を交えながら、できるだけ平易に説明する予定です。

セミナー世話人：立教大学理学研究科 関口拓磨  
連絡先：03-3985-4602（内線：4602）

### 2014年度第2回 立教大学医学物理セミナー

講演題目：医療新規技術の商業化・起業化について

講演者： 株式会社360ipジャパン 中野謙

日時： 2014年7月11日 18:30-20:00  
場所： 立教大学4号館4408号室

講演概要：  
昨今、国内では経済的な成長戦略における第三の矢として、新しい事業、いわゆるベンチャー企業の積極的な創出が、おのれ様々な政策が進められています。特に、大学や研究所は、新技術を用いたイノベーションを創出する中心となる組織として定義され、新技術を用いた新事業を創出する拠点としての役割やその期待値も高まっています。他方、大学等で開発された新しい技術の事業化の道程には実働的な困難さやリスクが散在しており、それらに対して十分な対応ができる人材や組織の育成が急務です。  
今回の講師である中野氏は、米国ブルックヘブン国立研究所のAGS加速器を用いた原子核実験に従事した元研究者で、現在は技術商業化に特化したNPO法人である米国パテル記念研究所配下のベンチャーキャピタル（360ip社）で技術の商業化に専念するベンチャーキャピタリストです。中野氏は、これら国内外の様々なイノベーション創出政策に関心しながら新規技術の商業化に従事しており、実業者人としての立場からイノベーション創出・ベンチャーによる起業の実態についてお話を頂く予定です。

セミナー世話人：立教大学理学研究科 関口拓磨  
連絡先：03-3985-4602（内線：4602）

### 2014年度第3回 立教大学医学物理セミナー

講演題目：順天堂大学における医学物理士養成について

講演者： 順天堂大学医学部放射線医学教室放射線治療学講座  
黒河千恵助教

日時： 2014年12月8日 18:20-20:00  
場所： 立教大学4号館4407号室

講演概要：  
医学物理士養成プログラムとは、立教大学大学院理学研究科博士課程前期課程に在学し、所定の単位を修得し認定試験に合格した学生に、順天堂大学大学院医学研究科放射線治療学または臨床腫瘍学講座（博士課程）へ推薦する制度です。本講演では順天堂大学医学研究科の黒河千恵助教をお招きし、立教大学と順天堂大学連携を踏まえ、順天堂大学における医学物理士養成について、教育と研究の両面からお話して頂く予定です。  
また、本講演の事前準備として立教大学医学物理士養成プログラムと順天堂大学への推薦制度についてセミナー世話人より概要説明を行う予定です。

セミナー世話人：立教大学理学研究科 関口拓磨  
連絡先：03-3985-4602（内線：4602）

### 2014年度第4回 立教大学医学物理セミナー

講演題目：がん疼痛治療と医療用麻薬の適正使用

講演者： 東京理科大学薬学部薬学科 疾患薬理学研究室  
吉澤一巳 講師

日時： 2015年1月15日 18:20-20:00  
場所： 立教大学4号館4407号室

講演概要：  
オピオイド鎮痛薬は緩和医療をはじめとする疼痛治療の主役を担う薬剤であり、モルヒネ、フentanylならびにオキシコドンを中心にその使用頻度は増加しつつある。しかしながら、オピオイド鎮痛薬は優れた鎮痛作用を持つ反面、非疼痛下での長期使用により強度の依存を形成するという特性から、その使用が躊躇されることもあり、本邦における使用量は相変わらず他の先進諸国と比べて圧倒的に低いのが現状である。一方、疼痛緩和を目的にオピオイド鎮痛薬を適切に使用した場合、その精神依存はほとんど問題にならないことが基礎研究および幅広い臨床試験より明らかになっている。したがって、オピオイド鎮痛薬に対する「乱用・中毒」といった誤解を改めることは、臨床医の積極的なオピオイド鎮痛薬の使用を促すのみならず、患者とその家族の麻薬使用への不安を解消し患者の quality of life (QOL)の向上に大きく貢献できるものと考えられる。そこで本セミナーでは、医学物理とは遠く離れた「薬学」の立場からがん疼痛治療におけるオピオイド鎮痛薬の適正使用の意義を概説し、がん医療における薬剤師の役割について紹介したい。

セミナー世話人：立教大学理学研究科 関口拓磨  
連絡先：03-3985-4602（内線：4602）

# 5. 連携大学 ICT 特別講義

## 5-1 連携大学 ICT 特別講義『新薬、機器開発 (PMDA)』

---

### ■概要

#### (1) 日時、場所

開催日時：平成 26 年 6 月 17 日（火）18:30～20:00

講義会場：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス 10 号館 2 階 203 カンファレンスルーム

#### (2) 主担当大学・主担当教員

順天堂大学 臨床薬理学 教授 佐瀬 一洋

東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 教授 樋上 賀一

#### (3) ゲストスピーカー

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 理事 重藤 和弘

## 5-2 連携大学 ICT 特別講義 『患者の就労 一を支える我々が出来ること 現実と理想』

---

### ■概要

#### (1) 日時、場所

開催日時：平成 26 年 7 月 25 日（火）18:30～20:00

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス医学部 2 号館 5 階 2 番講義室

#### (2) 主担当大学・主担当教員

岩手医科大学 内科学講座（血液・腫瘍内科分野） 准教授 伊藤 薫樹

岩手医科大学 外科学講座 講師 柏葉 匡寛

#### (3) ゲストスピーカー

国立がん研究センター がんサバイバーシップ支援研究部 高橋 都

岩手県保健福祉部 橋場 友司

NPO 法人いわてパノラマ福祉館 生活相談員・職業指導員 大坪 幸広

### 5-3 連携大学 ICT 特別講義 『がん医療コーディネーター（CRC/共同研究コーディネーター）』

---

#### ■概要

##### (1) 日時、場所

開催日時：平成26年10月9日（木）18:30～20:00  
講義会場：順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟16階

##### (2) 主担当大学・主担当教員

東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 教授 深井 文雄  
東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 教授 樋上 賀一

##### (3) ゲストスピーカー

東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 嘱託教授（非常勤） 増保 安彦

### 5-4 連携大学 ICT 特別講義 『チーム医療の日米比較 ～トーマスジェファーソン海外研修』

---

#### ■概要

##### (1) 日時、場所

開催日時：平成26年1月19日（月）18:30～20:00  
講義会場：島根大学医学部みらい棟4階ギャラクシー

##### (2) 主担当大学・主担当教員

島根大学 医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

##### (3) ゲストスピーカー

町立奥出雲病院 副院長 鈴木 賢二  
島根大学医学部附属病院 感覚運動医学講座 小山 哲史  
島根大学医学部附属病院 看護部外来 副看護師長 上田 恵巳  
島根大学医学部 歯科口腔外科学講座 菅野 貴浩

# 6. 共同カンファレンス等

## 6-1 がんプロ乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

---

### ■概要

#### (1) 名称

乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

#### (2) 第 1 回

開催日時：平成 26 年 4 月 30 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

#### (3) 第 2 回

開催日時：平成 26 年 5 月 28 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・岩手医科大学

#### (4) 第 3 回

開催日時：平成 26 年 6 月 18 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

#### (5) 第 4 回

開催日時：平成 26 年 7 月 30 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

#### (6) 第 5 回

開催日時：平成 26 年 9 月 24 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学

#### (7) 第 6 回

開催日時：平成 26 年 10 月 29 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

#### (8) 第 7 回

開催日時：平成 26 年 11 月 26 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

#### (9) 第 8 回

開催日時：平成 27 年 1 月 28 日（水）18:30～19:30

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

#### (10) 第 9 回

開催日時：平成 27 年 2 月 25 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

#### (11) 第 10 回

開催日時：平成 27 年 3 月 25 日（水）19:00～20:00

参加大学：順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学

## 6-2 がんプロ放射線 TV カンファレンス

---

### ■概要

(1) 名称

がんプロ放射線 TV カンファレンス

(2) 第1回

開催日時：平成26年4月4日（金）17:00～18:00

参加大学：順天堂大学・島根大学

(3) 第2回

開催日時：平成26年7月4日（金）17:00～18:00

参加大学：順天堂大学・岩手医科大学・鳥取大学・島根大学

## 6-3 がんプロ共同研究 婦人科がん会議

---

### ■概要

(1) 名称

がんプロ共同研究 婦人科がん会議

(2) 日時、参加大学

開催日時：平成26年11月14日（金）19:00～21:00

参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学

## 6-4 順天堂大学・島根大学人材交流事業

---

### ■概要

(1) 名称

順天堂大学・島根大学人材交流事業

島根大学 呼吸器・臨床腫瘍学 助教 沖本 民生

平成26年8月1日～9月30日の2か月間、順天堂大学医学部附属 順天堂医院呼吸器科・乳腺科・血液内科にて研修を実施。

## 6-5 Texas Medical center 研修

---

### ■概要

(1) 名称

Texas Medical center 研修 MD Anderson Cancer Center & Baylor Collage of Medicine

(2) 日時

開催日時：平成27年2月11日（水）～19日（木）

(3) 内容

順天堂大学にてリサーチセミナーをしていただいた、MD Anderson Cancer Center の山口浩史先生および Baylor collage of medicine の山本慎也先生の協力のもと、がんプロ所属の大学院生およびインテンシブ・コース生向けにアメリカの最大級のメディカルセンター、Texas Medical center での研修実施。

(4) 参加者の概要

参加者数：7名

# 7. ニュースレター

7-1 ニュースレター第9号

## 順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2014  
第9号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

### 国際教養学のすすめ

6/28(土)開催  
順天堂大学国際シンポジウム

ーグローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指してー

順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学講座  
先導的がん医療開発研究センター 副センター長 教授 樋野 興夫

#### 「国際教養学のすすめ」開催報告

国際シンポジウム「国際教養学のすすめーグローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指してー」が開催された。木南英紀学長の「主催者挨拶」に始まり、新井一医学部長の座長のもとで、「グローバル時代にあるべき日本人像」(猪口邦子 参議院議員)、「国際人としての目覚め：欧州から見た視点」(山本忠通 駐ハンガリー特命全権大使)の2つの特別講演があった。ともに、大変、感銘を受けた。「日本のあるべき姿」、「真の国際人」の有り様を深く静思する機会が与えられた。「心優しく、柔和な品性」は、「本物と相対化」の両輪の獲得によって実現されることを学んだ。



パネル討論「世界で活躍する最先端の研究者育成に向けた日本の課題」は、齊藤卓也(文部科学省 大臣官房政策課評価室長)の司会により、中川英刀(独立行政法人 理化学研究所統合生命医科学センターチームリーダー)、山口浩史(テキサス州立大学 M.D.アンダーソンがんセンター)、渡辺その子(文部科学省 科学技術・学術政策研究所 総括首席研究官)をパネリストとして、更に特別講演のお2人をコメンテーターに加えて進められた。まさに、「純度の高い専門性と社会的包容力」の「実例と実行」であった。「役割意識・使命感」を持つ先導的なリーダーの時代的出番である。





筆者は「総括」する任を与えられた。まず、「真の国際人」とは、「賢明な寛容」を持ち「能力を人の為に使う」人物であり、明治維新以降の「真の国際人」のモデルとして、「岡倉天心・内村鑑三・新渡戸稲造」の3人を紹介し、教養の理念：「世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見ていく」、教養の使命：「俯瞰的に「人間」を理解し「理念を持って現実に向かい、現実の中に理念」を問う人材の育成」、教養の社会貢献：「複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む「具眼の士」の種蒔き」について述べた。筆者は、先日、wifeと軽井沢に向かい、「石の教会 内村鑑三記念堂」を訪問した。地下の資料館で、内村鑑三（1861-1930）直筆の「成功の秘訣」（1926年）を拝読した。まさに、「預言者的使命感」を持つ内村鑑三が掲げる「妥協のない純粋な自由」である。札幌農学校の同級生である新渡戸稲造（1862-1933）と共に、筆者にとってこの2人の傑物は、若き日からの人生の大いなる基軸である。

「真に勇敢なる人は常に沈着である。  
 ----- 吾人はこれを「余裕」と呼ぶ。それは屈託せず、  
 混雑せず、さらに多くをいれる余地ある心である」  
 （新渡戸稲造「武士道」より）。  
 まさに、「偉大なるお節介症候群」の主症状である。

「偉大なるお節介症候群」の診断基準

- ① 暇げな風貌
- ② 偉大なるお節介
- ③ 速効性と英断

「偉大なるお節介症候群」認定証の選考項目

- ① 「役割意識&使命感」を持つ
- ② 「練られた品性&綽々たる余裕」
- ③ 「賢明な寛容さ」
- ④ 「実例と実行」
- ⑤ 「世の流行り廃りに一喜一憂せず、あくせくしない態度」
- ⑥ 「軽やかに、そしてものを楽しむ。自らの強みを基盤とする。」
- ⑦ 「新しいことにも、自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力する。」
- ⑧ 「行いの美しい人 (a person who does handsome) 」
- ⑨ 「冗談を実現する胆力」 ~sense of humorの勤め~
- ⑩ 「ニューモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観のある人物」



Leading center for the development and research of cancer medicine

## 先導的がん医療開発研究センター活動報告

### 6/20(金) セミナー報告

MD Anderson Cancer Center Assistant Professor 山口 浩史

#### *The regulation and role of histonemethyltransferase EZH2 in cancer*

この度、順天堂大学において6月28日に行われたシンポジウム「国際教養学のすすめ」-グローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指して- に分子病理病態学の樋野教授にご招待いただき参加いたしました。シンポジウムに先立ち、6月20日には順天堂大学を訪問し、何人かの先生方と研究内容やアメリカとの研究環境の違いなどをお話させていただく機会を得ました。また、セミナーを行う機会も与えていただき「The regulation and role of histonemethyltransferase EZH2 in cancer」という題目で講演をいたしました。金曜日の午後6時開始と遅い時間にもかかわらず多くの方がご参加くださり、参加者のみなさんからは貴重な質問をいただきました。中には同じ分子をターゲットにした研究をされている方もおり、有意義な意見交換ができました。また、MD Anderson Cancer Centerについても簡単に説明させていただき、数名の大学院生はMD Andersonで行われている最近のプログラムに関心を持っておられました。これを機会にMD Andersonと順天堂大学の交流が盛んになり、MD Andersonだけではなく海外の大学に留学を志す大学院生および若手研究者が増えてくれることを期待しております。



### M.D.アンダーソンがんセンターについて

先導的がん医療開発研究センター 助教 今井 美沙

#### *MD Anderson Cancer Center(The University of Texas) Yamaguchi's Lab*

山口先生は、日本でPh.D.を取得後アメリカに留学し、7年ほど前よりDr.Mien-Chie Hungのもと Assistant Professorとして働いています。現在、50人のスタッフ、大学院生が在籍しており、乳がんや卵巣癌を中心に「がん」に関わる様々なメカニズムを解明するための基礎研究が行なわれているとのこと。

大学院生はPh.D.取得まで7年前後かかるものの、給料が支給されるため、研究に集中出来ると同時に責任感を持って実験を行なう環境が整っているようです。また、最先端の研究成果を聞くことのできるセミナーが開催されており、刺激的な環境のもとで大学院生活を送ることができそうです。研究室を見学後は、今回の国際シンポジウムに関するミーティングや、アメリカの研究の現状や今後の課題などについて貴重なご意見を伺うことができました。アメリカでも研究費を取り巻く現況は厳しい中、様々な分野の専門家がその専門性を生かし、協力して資金獲得のための申請書作成に当たっておられるとのこと。また現在Moon Shots Projectが進行中で、一年間に数億円という資金を調達し、がん撲滅に向けた研究が行われているとのこと。





Leading center for the development and research of cancer medicine

情報  
コーナー

**報告** 下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- 連携大学 ICT 講義（順天堂大学、東京理科大学）  
 テーマ「新薬・機器開発 (PMDA)」  
 ゲストスピーカー：重藤 和弘 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事  
 2014年6月17日(火) 18:30～20:00 順天堂大学 10号館 2階203カンファレンスルーム
- 先導的がん医療開発研究センター セミナー  
 テーマ「The regulation and role of histonemethyltransferase EZH2 in cancer」  
 講師：山口 浩史 (M.D.アンダーソンがんセンター)  
 2014年6月20日(金) 18:00～19:30 順天堂大学 センチュリータワー 南4階 403教室
- 順天堂大学 シンポジウム  
 テーマ「国際教養学のすすめ-グローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成を目指して-」  
 特別講演：猪口 邦子 参議院議員、元軍縮会議日本政府代表部特命全権大使  
 山本 忠道 駐ハンガリー特命全権大使、前ユネスコ日本政府代表部特命全権大使  
 2014年6月28日(土) 13:30～16:00 順天堂大学 センチュリータワー 南8階 会議室

**今後のスケジュール** 詳細はHPに随時掲載します

- 連携大学 ICT 講義（岩手医科大学）  
 テーマ「がん患者の就労 -支える我々ができる事 現実と理想-」  
 ゲストスピーカー：高橋 都 独立行政法人国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援研究部 他  
 2014年7月25日(金) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講予定
- 連携FD研修会(合宿)  
 テーマ「(仮)がん医療維新を達成するための自己点検と実行プランの策定」  
 2014年9月20日(土)・21日(日)
- 連携大学 ICT 講義（東京理科大学、明治薬科大学）  
 テーマ「がん医療コーディネーター (CRC/共同研究コーディネーター)」  
 ゲストスピーカー：増保 安彦 東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 嘱託教授  
 2014年10月9日(木) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講予定
- 肺癌シンポジウム（順天堂大学、岩手医科大学、鳥根大学、鳥取大学）  
 テーマ「(仮)地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺癌研究」  
 2014年11月27日(木) 14:30～17:00

編集後記

人間は、自分では「希望のない状況」であると思ったとしても、「人生の方からは期待されている存在」であると実感する深い学びの時が与えられている。その時、「その人らしいものが発動」してくるであろう。「希望」は、「明日が世界の終わりでも、私は今日りんごの木を植える」行為を起こすものであろう。「自分の命より大切なものがある」は、「役割意識&使命感」の自覚へと導く。「責務を希望の後に廻さない、愛の生みたる不屈の気性」が「人生の届の要」の如く甦る。「ビジョン」は人知・思いを超えて進展することを痛感する日々である。「病気であっても、病人ではない」の社会構築が、「偉大なるお節介症候群」の使命であり、次世代の医療の姿であろう。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター  
 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

# 順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2014  
第  
**10**  
号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

9/20(土)  
開催

## 東日本がんプロ 合同シンポジウムについて

順天堂大学 順天堂大学大学院 医学研究科 泌尿器外科学 教授 堀江 重郎

### 9月20日 東日本がんプロシンポジウムに参加して

順天堂大学をはじめとする全国100大学(15拠点)が参画する文部科学省プロジェクト【がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(がんプロ)】のうち、東日本の拠点機関が集まり、9月20日(土)に東京・秋葉原富士ソフトアキバプラザで、がんプロ合同市民公開シンポジウム「がん医療の最前線」が開催されました。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プランは、国内の大学院教育においてがん医療のプロフェッショナルを輩出するためのプロジェクトであり、順天堂大学は、「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」を岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学・鳥取大学と連携しています。今回のシンポジウムは、プロジェクト参加機関のうち東日本の8拠点(47大学)が協力し、これまでの成果を社会に還元することを目的として、特に将来の日本のがん医療を支える若い世代に焦点を当て、がん医療の現状や、これからのがん医療について、講演・体験を通じて学んでもらえるよう企画されました。シンポジウムは、講演、体験、対話の3つの内容に分かれ、各専門分野の医師らによる「がん医療の最前線」についての講演(ライブ配信あり)、医療の現場を体験できる治療装置のデモンストレーションや鏡視下手術や腹腔鏡下手術のシミュレーション、さらに現場で活躍する医療従事者との懇談会と盛りだくさんでした。参加者は高校生が中心ということでしたが、私はロボット手術ダ・ヴィンチについて講演を行う機会をいただきました。手術はヒトの体に傷をつけながらも、がん病巣を摘除して患者の健康を守る医療行為です。手術の歴史について簡単に述べ、患者の負担を減らし、かつ



正確で、しかも技術教育が容易な、理想的な手術法の現在の到達点としてのダ・ヴィンチを紹介させていただきました。いろいろ質問をいただき、高校生諸君が外科医の仕事に大変興味を持っていただけたのではないかと考えております。

今回講演の機会を与えていただいた統括コーディネーターの高橋 和久教授、がんプロフェッショナル養成推進基盤ニュースレター編集長 樋野 興夫 教授に厚く御礼申し上げます。



9/20(土)・21(日)

## 平成26年度連携7大学FD研修会

総括

### 順天堂大学

医学部 腫瘍内科学研究室 教授 加藤 俊介

今回の連携7大学のFD合宿は「がん医療維新を達成するための自己点検と実行プランの策定」をテーマとして行われました。維新の意味「維(こ)れ新(あらた)なり」を意識しながら、理想とする最終ゴールを見据えた今後のアクションプランが活発なグループワークを通じて得られました。これからもリーダー、フォロワー一体となったがんプロ「維新」を進めていけたらと思います。ご参加いただいた全ての方々に御礼を申し上げます。



### 岩手医科大学 医学部 内科学講座(血液・腫瘍内科分野) 准教授 伊藤 薫樹

3年目のFDワークショップが、「維新」を目指した今後のアウトカムの重要性についての講演を皮切りに、順天堂大学で2日間にわたり開催され、プランの課題と解決策について熱心な議論が行われました。「維新」を達成するための具体的な課題と真の目標を共有できたことが最大の収穫であったと思います。私はICTと地域交流・均てん化を検討するグループに参加しましたが、今後は、現行の地域事業から見える現状や課題を7大学で共有し、均てん化の最適な評価法の開発や地域のニーズに対応できる柔軟な教育・啓発を図っていくことが必要ではないかと感じました。軌道に乗ったそれぞれの事業を「維新プラン」でしか成し得ないアウトカムにつなげるために、積極的にアクションを起こしていく「維新の志士」となれるよう頑張っていきたいと思います！



### 島根大学

医学部 放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典

早いもので「連携7大学FD研修会」が昨年の秋に出雲市で開催されたことがついこの間のことのように思われます。今年は東京での開催で、がん診療レベルの地域間格差の解消や医療教育の充実、国際化の推進等、日本のがん医療が抱えている問題点の解決策について、3グループに分かれての討議は心地よい疲労感を感じて終わりました。「がん医療維新の達成」という壮大な目標は一朝一夕に達成されるものではありません。しかし継続は力なりで、われわれが取り組んでいる地道な活動も少しずつではありますが実を結びつつある手応えを感じています。閉会の辞で樋野教授が奇しくも申された、こうした活動と成果の社会への認知度を高めるためにはすぐれた広報が必須であること、またこの部分がかもっとも遅れていることを痛感しました。今回のFD研修会のためにご尽力頂きました順天堂大学をはじめとする皆様方に感謝します。

Leading center for the development and research of cancer medicine

### 鳥取大学 医学部附属病院がんセンター センター長 教授 辻谷 俊一

今回初めてFD研修会に参加して、各大学の状況を知り、がんプロフェッショナル養成のPDCAについて考えることができました。冒頭の桜井なおみさんの講演で、リーダーとフォロワーの形成からムーブメントを起こす重要性を教わりました。国民病である「がん」と向き合うには、医療者、患者、家族のみでなく健康な人々の力まで集めることが必要でしょう。樋野興夫先生は、医療維新が起きるには30年後を見越して語る人間が必要だ、と総括されました。そのような人が現れるには、それが生まれる土壌が必要で、がんプロはその土壌を築くものだと思います。有益な教育、研修、交流、組織作りを積み重ね、「がん」に対するムーブメントへとつなげたいと考えます。主催の順天堂大学の皆様の温かいホスピタリティに感謝します。ありがとうございました。

### 明治薬科大学 薬効学 教授 庄司 優

順天堂大学センチュリータワーで行われた第2期がんプロFD合宿は、今回で早くも3回目となった。代表世話人の加藤教授より全体説明を受け、プロジェクトの目標である「がん医療維新」を達成するための検討に入った。まず、櫻井先生の講演では維新の原点と患者サイド医療評価の必要性および評価法の重要性について、大津先生からは新設の先導的がん医療開発研究センターの先進性と活躍について認識を新たにさせられた。鳥根大学の沖本先生は順天堂に短期研修中であり、その貴重なご経験が印象深かった。その後Aグループで、ICT連携、地域交流・均てん化についてこれまでの活動の問題点を挙げ、その解決への実行プランの策定を行った。身につまされる切実な熱い意見がかわされた。これからのがんプロの活動にたいへん有意義な内容であった。

### 立教大学 理学部 物理学科 教授 栗田 和好

私の参加したCグループでは研究基盤整備と国際化の推進をテーマに討論を行いました。論文数等では評価出来ない研究の質の確保には共同研究を成功に導くプロセスの重要性が挙げられ、我々が作り上げているのはそのプロセスを経験する上で獲得できる知恵であるという結論に深く納得しました。全体を通して感じたことは皆さんの、命を救うという使命感に裏打ちされた誠実さと門外漢の物理屋を暖かく迎えてくださる懐の深さです。異分野間の接点から生まれる新たな発想の予感はそのような雰囲気から生まれるのだらうと思います。共同研究で活躍する若手の方にも接して、がんプロが可能にした「維新のさきがけ」も感じることができました。こうして集うことで可能になったことをさらに発展させていくことがプロジェクトの核心であると実感出来た有益な合宿でした。

### 東京理科大学 薬学部 薬学科 助教 堀口 道子

この度、連携7大学FD研修会に参加させていただき、がん医療維新におけるチームワークの重要性を再認識いたしました。研修会ではがん医療維新を実現するために、これまでの取り組みに対する総括と今後の目標設定を行いました。これまでの取り組みについて厳しい意見も多く活動を見つめ直す良い機会となりました。以前のがんプロ合宿で提案され当方も参加している臨床研究についても、先導的がん医療開発研究センターの先生方をはじめ多くの先生方から有益な助言を頂戴いたしました。がん治療における臨床的な問題を解決するにあたり、それを担う人材の育成および臨床研究の推進のためには専門性の異なる方からの厳しい意見が重要です。今後もがん医療維新に向けて強力なチーム体制を構築しがん医療の充実に繋がる活動を発展させていきたいと思っています。





Leading center for the development and research of cancer medicine

情報  
コーナー

**報告** 下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **連携大学ICT講義（岩手医科大学）**  
 テーマ「がん患者の就労 - 支える我々ができる事 現実と理想 -」  
 ゲストスピーカー：独立行政法人国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援研究部 高橋 都氏  
 岩手県保健福祉部 橋場 友司氏  
 NPO法人いわてパノラマ福祉館 大坪 幸弘氏  
 2014年7月25日（金）18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講
- **連携大学ICT特別講演会（明治薬科大学）**  
 テーマ「中性子捕捉療法の実験とがん治療への展開」  
 演者：明治薬科大学寄付講座「がん先端医療学：アルファ粒子線・免疫治療学教室」 柳南 宏宜 教授  
 2014年9月17日（水）18:30～19:30
- **連携7大学FD研修会（合宿）**  
 テーマ「がん医療革新を達成するための自己点検と実行プランの策定」  
 2014年9月20日（土）11:30～21日（日）11:30 順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス
- **連携大学ICT講義（東京理科大学）**  
 テーマ「がん医療コーディネーター（CRC/共同研究コーディネーター）」  
 ゲストスピーカー：東京理科大学薬学部生命創薬科学科 増保 安彦 嘱託教授  
 2014年10月9日（木）18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校で開講

**今後のスケジュール** 詳細はHPに随時掲載します

- **市民公開シンポジウム（立教大学）**  
 テーマ「切らずに治す放射線がん治療」  
 2014年10月18日（土）13:00～16:00 立教大学 マキムホール 2階 M202
- **外部評価委員会**  
 2014年11月22日（土）14:00～17:00 順天堂大学 センチュリータワー 北4階 405教室
- **肺がんシンポジウム（順天堂大学、岩手医科大学、鳥根大学、鳥取大学）**  
 テーマ「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究」  
 2014年11月27日（木）14:30～17:00 順天堂大学 10号館 1階 105教室

編集後記

秋分の日、「新渡戸・南原賞委員会主催シンポジウム：新渡戸・南原と現代の教養」（学生会館に於いて）が開催された。筆者は、「南原繁のリーダーシップに学ぶ～時代を動かすリーダーの胆力～」を講演する機会が与えられた。

翌日、「新渡戸基金維持会定例委員会」（国際文化会館に於いて）に出席した。「新渡戸稲造の精神の継承」は、「現代の国際性・教養・教育」に於いても、大いに示唆に富むモデル事業であることを痛感した。まさに「せねばならぬ勤めならば、気軽に潔くすべし。何事も心地良く手をくだせば、よくはかどりてかつ身の疲労少なし」（『人生雑感』新渡戸稲造 著）の再確認の時でもあった。

「誰にも出来るが、何処にいても出来ない」研究から、「何処にいても出来るが、誰にも出来ない」研究が、本来の「勇ましき高尚」な独創性であろう。日本国では1番でもアメリカでは101番目では、日本国の「オリジナルな気概ある医療革新」は生まれない。

編集長・広報委員長 樋野 典夫

**順天堂大学先導的がん医療開発研究センター  
 順天堂大学がん生涯教育センター**

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

## 7-3 ニュースレター第11号

# 順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2015  
第  
**11**  
号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

## 外部評価委員会 開催報告

11/22(土) 14:00~17:00

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～では、これまでの事業活動を振り返り、また今後の活動の重要な指針とするため、外部評価委員会を受審しております。

今年度は外部評価委員として、公益財団法人 がん研究会有明病院 門田 守人 院長、国立がん研究センター中央病院 薬剤部 林 憲一 部長、一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 天野 慎介 理事長をお招きし、評価を頂きました。

順天堂大学 学長 / 統括責任者

木南 英紀

首都圏の順天堂大学を主管とし、東北・山陰までの広域をカバーした7大学連携によるがん医療維新を目指す本事業の構想・志は外部評価委員から高く評価して戴いた。しかし、7大学が単独で、あるいはコンソーシアムとして各地域の病院・自治体などと連携してICT講義や研究セミナー、市民公開講座等が数多く開催されていることはよくわかったが、受講者や患者によるレスポンスをキャッチアップし、アウトカム評価として教育改革やがん医療維新にもっと生かして欲しいというご指摘があった。また、何が最終目標であるか明確なメッセージとして伝わってこないという示唆があった。これらのコメントを真摯に受け止め、改善計画を立て実行していくことにしたい。

順天堂大学 医学研究科長 / 事業推進責任者

新井 一

本年度の外部評価委員会において、本プランの主目的として掲げている連携7大学のICTによる連携・循環型交流など、多分野において高い評価をいただいた。しかしながら、いくつかのご指摘いただいた事項については真摯に受け止め、更なる国際化を視野に入れた体制を整え、本プランをより活発で充実したものにしていく必要がある。一丸となって取り組んでいくよう皆さまのご協力をお願いしたい。

順天堂大学 医学研究科 呼吸器内科学 教授 / 統括コーディネーター 高橋 和久

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～の外部評価が11月22日に順天堂大学で行われた。がん研究会有明病院院長の門田守人先生、国立がん研究センター中央病院薬剤部長の林憲一先生、グループ・ネクサス・ジャパン理事長の天野慎介先生を評価委員として迎え、本プランの活動実績、昨年の外部評価で指摘された国際化、研究者育成、人の循環などに対する改善結果などを報告し、概ね高い評価をいただいた。今後は宿題としていただいた本プランに対する患者、国民からの評価、産学官連携を通じてのがん医療・研究のさらなる発展へかに繋げるかについて検討していきたい。

順天堂大学 医学研究科 分子病理病態学 教授

樋野 興夫

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン：ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン外部評価委員会」（順天堂大学に於いて）に参画した。各連携大学から「教育分野」・「地域分野」・「研究分野」・「ICTと大学間連携事業」について、それぞれの成果・現状報告がなされた。順調な進展を感じた。「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」は、「しっかりととした土台」、「しっかりととした骨組み」、「しっかりととした使命感」を持った「杭となり、羅針盤」となる「医療の隙間」を埋める「医療人の育成」を目指す事業であり、まさに「医療のあらゆる行動に普遍性の烙印を押す、教養ある、本質的な人間教育の見直し」でもある。その手段は「目的は高い理想」に置き、それに到達する道は臨機応変に取るべしである。これこそ「医療維新」の心得であろう。本事業が「医療維新」の舵取りなる予感がする。



## 外部評価委員会 開催報告

### ① 教育分野

**鳥取大学 医学部附属病院 がんセンター  
教授 辻谷 俊一**

今回の外部評価委員会に参加し、がんプロの到達目標の高さを再認識しました。門田委員長が患者目線のアウトカムの必要性を示されましたが、それには教育の達成度だけでなく、育成された医療人、研究者によるがん医療への貢献度が重要です。我々の目標である「医療維新」実現のため、そこまで考えた実践的な教育が必要と感じました。

### ② 地域分野

**島根大学 医学部 内科学講座  
呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威**

山陰全域にICTを用いた顔の見える連携を構築した点にご評価いただきました。本プロジェクトの対象は、医師、看護師、薬剤師を含むすべての医療従事者であり、プロジェクトの受け手側の評価をいただくことが必要です。さらには、地域の患者さんにとって、このプロジェクトがどのように貢献したのかを明らかにすることが次の課題となります。

### ③ 研究分野

**東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科  
教授 早川 洋一**

東京理科大学では修士課程の大学院生を対象とするがん研究者養成を行っており、がん医療を中心とするプログラムの中ではやや異質な分野を担当しているが、今回、関係者の方々の暖かい理解と細やかなサポートを改めて実感できた。外部評価委員からは様々な課題提示をいただいたので、これを糧により良い教育を実現できるよう取り組んでいきたい。

### ④ ICTと大学間連携事業

**順天堂大学 大学院医学研究科臨床腫瘍学  
教授 加藤 俊介**

広域にわたる私たちのグループでは、ICTは大変重要なツールです。その運用については高評価をいただきましたが、各種シンポジウムなど配信事業の一般公開や適切なアウトカム評価も求められました。また、循環型人材交流のさらなる活性化も求められています。今後の事業展開について、皆さんと一緒にアイデアを出しあえたらと思います。

**明治薬科大学 副学長／薬物治療学  
教授 越前 宏俊**

薬科大学の教育年限が6年制へと移行し大学院進学者が激減する中、がん専門薬剤師養成の、社会人を対象としたカリキュラム設置により入学者は増加傾向にあること、また国際的なpharmacist scientist養成の観点から、米国から講師を招き大学院を中心に学部学生や社会人にも門戸を開き教育活動を展開する現状を報告した。委員から高評価を受けるも、他校との連携に改善の余地を指摘され、次年度からの課題として検討することとした。

**岩手医科大学 内科学講座 血液腫瘍内科分野  
准教授 伊藤 薫樹**

人材育成の2本柱である大学院コースとインテンシブコースの進捗状況、地域と連携したがん教育の取り組み、がん啓発活動を中心に発表致しました。特に小学生を対象にしたセミナーや患者目線のがん医療などをテーマにした市民公開講座の開催実績についてはご評価いただきました。外部評価委員の方々の貴重なご意見を参考に残りの課題に取り組んで参りたいと思います。

**立教大学 理学研究科 物理学専攻  
特任准教授 洞口 拓磨**

今年度の外部評価委員会において立教大学が目すべきポイントは、医学・物理連携モデルの社会への発信と、コース受講生からのアウトカム評価の二点と強く認識しました。我々にとっての医療維新とは、連携における取り組みを随時発信していくことで、理工系人材の医療に対する潜在的興味を掘り起こす流れを作ることだと考えています。今後はアウトカム評価を活かし、より洗練された取り組みへと昇華させることを目標に取り組んでいきたいと思っています。

## 外部評価委員会 開催風景



Leading center for the development and research of cancer medicine

## 国際環境発がん制御研究会シンポジウム

2014年11月13日(木)  
13:30~16:00



順天堂大学

医学部 内科学教室・呼吸器内科学講座 助教 佐藤 匡

### 中皮腫疑い患者の早期診断

2014年11月13日(木)本学で行われた標記研究会に演者として参加する機会をいただきました。テーマが「アスベスト予防と早期診断と治療&福祉」ということで、非常に幅広い内容の発表が続き、演者も医師のみならず、保安用品協会の方や介護・福祉のプロの方とバラエティに富み、大変興味深く聴講することができました。

最終演者であった私は、呼吸器内科・外科と樋野興夫教授の病理・腫瘍学教室が協力して行ってきた、N-ERC/メソテリンという中皮腫のバイオマーカーに関するこれまでの研究成果を紹介させていただきました。N-ERC/メソテリン研究は、1995年に樋野教授らが遺伝性腎がんラットに高発現する遺伝子のひとつとしてErc遺伝子を同定したことを端緒とし、その後2006年に、ELISAによるN-ERC/メソテリン測定法を確立したことを当時呼吸器外科の塩見和先生が報告されました。2008年には塩見先生により中皮腫の診断において良好な感度および特異度を有することが報告され、当科からも田島健先生が抗がん剤などによる治療効果のモニタリングマーカーとして有用であること、森貴紀先生が予後予測マーカーとしての可能性を報告し、そして本年私が、抗体を改良し診断精度をさらに高めることに成功したことを報告いたしました。当日の発表では、私の心に残る中皮腫の患者さんのエピソードも交えさせていただきましたが、こうした患者さんに報いるためにも、私たちのN-ERC/メソテリン測定法が中皮腫の早期診断の一助となることを強く願っております。

最後になりましたが、節目の5周年という記念すべき本研究会に参加させていただいたことを大変光栄に思いますとともに、この機会を与えていただいた樋野教授と呼吸器内科・高橋和久教授に心から感謝申し上げます。





Leading center for the development and research of cancer medicine

情報  
コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- 市民公開シンポジウム（立教大学）  
 テーマ「切らずに治す放射線がん治療」  
 講師：国立がん研究センター東病院臨床開発センター粒子線医学開発部長 秋元 哲夫 先生 他  
 2014年10月18日（土）13:00～16:30 ICT接続により連携7大学各校に配信
- 国際シンポジウム（岩手医科大学）  
 テーマ「がんプロから考える 日本発の国際貢献」  
 司会：岩手医科大学産婦人科学講座 小山 理恵 准教授 小嶋 敦美 講師  
 2014年11月21日（金）14:00～17:30 ICT接続により連携7大学に配信
- 外部評価委員会  
 2014年11月22日（土）14:00～17:10 順天堂大学 センチュリータワー
- 肺がんシンポジウム（順天堂大学、岩手医科大学、鳥根大学、鳥取大学）  
 テーマ「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究」  
 ゲストスピーカー：タイ マヒドン大学 Dr. Thanyanan Reungwetwattana 他  
 2014年11月27日（木）14:30～17:00 ICT接続により タイ マヒドン大学および連携7大学に配信
- 地域シンポジウム（鳥根大学）  
 テーマ「在宅緩和ケアを広げるために」  
 講師：鳥根大学医学部附属病院緩和センター 橋本 龍也 先生 他  
 2014年12月22日（月）18:00～20:30 ICT接続により連携7大学に配信

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- ICT特別講義（鳥根大学・鳥取大学）  
 テーマ「チーム医療の日本比較～トーマスジェファーソン海外研修～」  
 2015年1月19日（月）18:30～20:00 鳥根大学 医学部 みらい棟 4階ギャラクシー
- ICT特別講演会（明治薬科大学）  
 テーマ「中性子捕捉療法に向けたドラッグデリバリーシステムの応用」  
 2015年1月21日（水）18:30～19:30 明治薬科大学 清瀬キャンパス フロネシス棟 8211教室
- 全国がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同フォーラム（がん薬物療法FD）  
 2015年1月29日（木）10:00～17:00 東京大学山上会館 2階大会議室
- 臨床研究研修会（合宿）  
 2015年2月28日（土）～3月1日（日）順天堂大学にて開催

編集後記

順天堂大学は、この度【2015年4月開設決定】国際教養学部の設置が認可された。「国際教養学部 開設記念シンポジウム」も、今年企画されることであろう。「「なすべきことをなそうとする愛」は、「高き自由の精神」を持って医療に従事する者の普遍的な真理である。「他人の苦痛に対する思いやり」は、医学・医療・教育・研究の根本である。「古き歴史と日新の科学」を踏まえて、次世代の新しい精神性として改めて問い直す時代の到来である。人間の尊厳に徹した医学・医療・教育・研究の在り方を考え、「潜在的な需要の発掘」と「問題の設定」を提示し、「医学・医療・教育・研究」に「新鮮なインパクト」を与えることが「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の目的でもあろう。まさに、「人生のversion upの邂逅」でもある。

全国の小・中学校関係の雑誌に「人の生と死からみた今後の教育の向くべき方向」を執筆する機会が与えられた。「最も剛毅なる者は最も柔和なる者であり、愛ある者は勇敢なるものである」とは、「教養の普遍性」であろう。「日々の出来事の丁寧な観察」は「寺子屋的な文章書きの習慣」によって、養われることであろう。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター  
 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

## 7-4 ニュースレター第12号

# 順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2015  
第  
**12**  
号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

## 対話カフェについて

岩手医科大学

産婦人科学講座 教授/岩手医科大学附属病院 腫瘍センター長 杉山 徹  
外科学講座 講師/岩手医科大学附属病院 腫瘍センター副センター長 柏葉 匡寛

平成26年4月から新腫瘍センター長に着任を期に岩手医科大学附属病院の「がん患者・家族サロン」(以下サロン)で「対話カフェ」を開催しています。この対話カフェは、2008年に順天堂大学 樋野興夫教授が立ち上げた「がん哲学外来メディカルカフェ」の考え方をもち、「患者・医療スタッフ間の対話を重視したサロン形式のカフェ」として当院のサロンのイベントのひとつとして昨年7月より第4水曜日の午後2時から3時半までの一時間半行っています。

サロンの一角にキノコ型のテーブルを置き、喫茶店風な非日常を演出し、医師1名ないし2名が患者さんやご家族と「対話」を行っております。病気を告知されて誰もが心の揺れ動きの中で、これからどのようにして自分らしく生きることができるかを考えます。しかし、医療現場は患者さんの病状や治療の説明が主で、がん患者さんやその家族が希望する医師との精神的な苦痛までを和らげる「対話」が十分に行われていないのが現状でしょう。そういった医療現場と患者の間にある「隙間」を埋めるために、サロンでは立場を越えて集う交流の場を作ることになりました。皆さんとの対話により、私たち医療者にとっても大きな学びの場になります。

これまでに7回開催され、当院入院中・通院中の患者さんのみならず他院通院中の患者さんなど29名が参加されました。その中には、栄養士・管理栄養士養成学校の臨地実習の学生や実習中の看護学生も参加し医療機関としての役割も果たしています。

参加目的も病気に対するそれぞれの想いを語りたい方、入院中の気分転換に用意されるコーヒーを楽しむために参加された方、趣味の話をしたい方などそれぞれですので、対話形式も個人対話、グループ対話と、その時々状況に合わせて、何よりざっくばらん、堅苦しくなく行っています。

参加者の皆さんには、他のサロンイベントにおいても実施している「満足度調査」を行なっています。参加者ご自身の気分を10段階で数値化していただき、イベントの前と後を比較し、さらにご意見や感想を頂き、イベントを評価し企画に役立てております。対話カフェの参加満足度は3から最高6段階気分の上昇があり、「自分のことを話せたことや先生自身の体験や考えを聞くことで元気が出ました」「とても楽しかった！参加できてよかったです」「患者さんの病室とは違う明るい声を聞くことができ大変嬉しく思いました」などの感想が寄せられています。昨年11月からインフルエンザ感染防止のため院内に面会制限が行われ、入院患者はサロンをなかなか訪れることができませんが、外来通院中の患者さんたちが、ポスターやパンフレット、ホームページで企画を知って、また担当医師から企画を紹介されて参加しています。

折角の「対話カフェ」の企画ですが、院内外での認知度はまだ高いものではありません。現在までの評価が高いことや、医療者の医育、あるいは医療者と患者さんがお互いに一人の人間として向き合う場として、今後一人でも多くの皆さんにゆったりした気分で対話ができる時間と空間を提供していきたいと考えています。





## Texas Medical center 研修報告

順天堂大学 先導的がん医療研究開発センター 助教 今井 美沙



順天堂大学にてリサーチセミナーをしていただいた、Baylor College of Medicineの山本慎也先生の協力のもと、2015年2月11日～19日の日程でアメリカの最大級のメディカルセンター、Texas Medical centerを訪れました。本研修は、海外で活躍する先生方のセミナーや研究施設の見学を通して、海外で研究すること、生活することの楽しさ、そして英語の重要性を肌で感じ、地域から世界まで、さらには基礎から臨床まで俯瞰する次世代のがん研究者・医療人の育成の一環として企画されました。



参加者はがんプロ連携7大学のがんプロ登録生およびインテンシブ・コース生である、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、看護師、基礎研究者2名の6名でした。そして、研修ではICT(JANDI)を活用し、職種、そして勤務地に関係なく研修前から積極的にコミュニケーションを取ることができた工夫をさせていただきました。短い期間ではありましたが、研修ではMD Anderson Cancer CenterおよびBaylor college of Medicine(MDACC)で活躍する沢山の先生方に講演をしていただく機会、そして、MD Anderson Cancer Center Proton centerやTexas Children's Hospitalを見学する機会も得ることができ、本当に充実した時間を過ごすことができました。その中で、特に印象に残った先生、および施設とともに研修生の感想を紹介させていただきます。



### Dr. Yamamoto's Lab

山本慎也先生は大学院入学を機にアメリカへ渡り、2012年にBaylor College of MedicineでPh.D.を取得され、2013年からAssistant Professorとして独立し、ラボを運営しておられます。Jan and Dan Duncan Neurological Research Institute (NRI)の11Fにある先生のラボを訪問し、ラボ見学そしてLectureをしていただきました。



Lectureではご自身の経験および研究成果をもとに、アメリカでの研究生活、ショウジョウバエが実験動物として有用な理由、医学研究に与えるインパクトなどを中心にお話しいただき、Lab見学ではなかなか見ることのできないショウジョウバエを実際に顕微鏡を使って見せていただきました。



### Tour of MDACC Proton Center



Proton centerのAssociate Professor 鈴木一進先生によるLectureおよび施設見学が実現しました。鈴木先生はProton center立ち上げから現在まで、センターの機械に関するメンテナンスなど非常に重要な部分の仕事に関わっておられます。

LectureではMDACCでの陽子線治療の現状、そして治療計画立案の方法、チーム医療の現状など大変貴重なお話を伺うことができました。また世界最大級の陽子線治療装置およびその裏側まで見学することができ、研修生にとって大変有意義な時間になりました。さらに、施設見学にあたり、英語でCV(履歴書)を準備する必要があり、研修生にとっては英語に触れるよい機会・経験となりました。



Leading center for the development and research of cancer medicine

## MD Anderson Cancer Center &amp; Baylor Collage of Medicine

## Tour of MDACC



メインロビーでMDACCのover viewをお話しいただき、乳癌センター、図書館などを案内していただきました。同時に、どのようなチームにより診察を行っているか、そして臨床研究の現状などもお話しいただき、研修生にとっても私にとっても大変刺激的な時間になりました。また、研修生(臨床検査技師)が質問した感染症予防対策に関しては、大変勉強になると同時にとても新鮮で、様々な職種で研修を行うことの意義を感じる時間となりました。

## 研修参加者の感想

## ➤ 板橋中央総合病院 放射線治療センター 診察放射線技師 佐藤 礼

基礎研究、臨床のどちらも見学できた点が良かったです。どちらの分野も見学することで臨床現場以外の知らなかった部分を知ることが出来ました。また、MD Anderson Cancer Centerという最大の病院を見学できたことで今後の臨床現場での働き方を改めて考え直すことができました。JANDIを使って研修後も積極的に連絡を取り合えたことが良かったです。今回の海外研修に参加したことは、ずっと思い出に残るとも貴重な体験になりました。これからも講演会や勉強会に広く参加して、勉強を続けていこうと思います。今度は自分ががんプロのお役に立てたらと思います。貴重な経験をさせていただき、本当にどうもありがとうございました。



## ➤ 岩手医科大学附属病院 薬剤師 於本 崇志

がん診療に携わっている医療従事者として、MD Anderson Cancer Centerを見学の魅力を感じ、今回の海外研修に参加させていただきました。しかし、実際に見学してMDACCのみならず、Texas Medical centerという世界最大規模の医療施設にただ圧倒されました。ここでは、世界最先端の医療が提供され、そのためにはチーム医療の実践が必須であることを改めて感じさせられました。また、Patient CareとClinical Trialの両立、さらには基礎研究の充実化が新たなエビデンス創出に重要であることを学び、日本人の基礎研究者の方は、高い志を持った方ばかりで、とても刺激を受けました。この研修では、Mentorと呼べる方々に出会えたことが一番の収穫だと思っています。ここで得た仲間とまたどこかで一緒に仕事をし、何か形にできればと思っています。お世話になった先生方、楽しい研修を企画していただき、本当にありがとうございました。



本研修でお世話になった先生方と積極的にコンタクトを取りながら、日本の若手研究者が海外で研究することが身近になるよう、また海外で活躍する若手研究者が日本でも活躍できる場を作れるよう、この研修をさらに良いものにし、先導的がん医療開発研究センターが中心となり次世代のがん医療研究者の育成につなげていきたいと思っています。最後に、本研修を支えていただいた先生方そして研修生の皆様、本当に有難うございました。





Leading center for the development and research of cancer medicine

情報  
コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- ICT特別講義(鳥根大学・鳥取大学)「チーム医療の日米比較～トーマスジェファーソン海外研修～」  
講師：鳥根大学医学部附属病院 頭頸部診療科群 耳鼻咽喉・頭頸部外科 小山 哲史 先生 他  
2015年1月19日(月) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校に配信
- ICT特別講演会(明治薬科大学)「中性子捕捉療法に向けたドラッグデリバリーシステムの応用」  
講師：明治薬科大学 がん先端治療学 アルファ粒子線・免疫治療学教室 柳衛 宏宣 教授  
2015年1月21日(水) 18:30～19:30 ICT接続により連携7大学に配信
- 第2回 江津市民公開講座(鳥根大学)「江津のがん医療のこれからを考えよう」  
講師：医療法人社団森医院 森 眞爾 理事長 他  
2015年2月1日(日) 13:30～16:00
- 研究シンポジウム(明治薬科大学)「がんの病態と薬物治療の接点」  
講師：順天堂大学医学部 呼吸器内科 高橋 史行 准教授 他  
2015年2月21日(土) 13:00～15:45
- 対話Café(第8回目)(岩手医科大学)  
担当：岩手医科大学附属病院 がん登録室 菅井 有 室長、緩和ケアチーム室 木村 祐輔 室長  
2015年2月25日(水) 14:00～15:00
- 臨床研究研修会(合宿)  
2015年2月28日(土)～3月1日(日) 順天堂大学にて開催
- 特別講演会(順天堂大学)「臨床試験の質とは何か？」  
講師：中央大学理工学部人間総合理工学科/生物統計学研究室 大橋 康雄 教授  
2015年3月6日(金) 18:30～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- 鳥根大学がんプロ事業中間報告会(鳥根大学)  
講師：鳥根大学医学部附属病院 井川 幹夫 病院長 他  
2015年3月6日(金) 18:00～21:00 ICT接続にて済生会江津総合病院、町立奥出雲病院に配信

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- 講演会(順天堂大学)「日本における胃がん及びその化学療法の現状について」  
2015年4月2日(木) 10:00～11:30 順天堂大学センチュリータワー北405教室  
16日(木) 10:00～11:30 順天堂大学10号館105教室
- 国際教養学部開設記念シンポジウム(順天堂大学)  
2015年5月13日(水) 14:00～16:30 順天堂大学 有山記念館講堂

編集後記

「平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業」で「第3回臨床研究研修会」が合宿形式で開催された。筆者は、「閉会の挨拶」で「良き広報」の大切さを強く述べた。

遺伝性がんの「2 hit」で著名な、アメリカ時代の恩師 Knudson(1922-)の最新論文「Revisiting tissue specificity of germline cancer predisposing mutations」(Nature Reviews Cancer 15:65-66, 2015)が送られてきた。改めて偉大さを確認した。

「ならのがん対策県民提案事業～がん患者サロン開設5周年記念事業シンポジウム「がんになっても安心して暮らせる奈良」に向けて～」に招待された。筆者は、講演「がん哲学外来 in 奈良～聖徳太子の現代的意義～」の機会が与えられた。若き日、「和をもって貴しとなし～」で始まる「十七条憲法」を暗記したものである。今回は、第五条「賄賂を取るな」、第七条「官のために人を求め、人のために官を求めず」、第十四条「政治家たちは嫉妬心を持ってはいけない」について語った。まさに、「過ぎ去るを知らずして、遠い未来は語れない」である。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター  
順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

# 第4編

## 各委員会議

# 1. 運営連絡会

## 1-1 がんプロ連携7大学運営連絡会（26-1）

---

### (1) 日時・場所

開催日時：平成26年5月20日（火）14:15～

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟4階405教室

### (2) 議題

1. 平成25年度実績報告書の提出について
2. 全国がんプロ協議会総会について
3. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
  - 1) 役職者（センター長、副センター長、センター長補佐）の就任
  - 2) コンサルティングの受付状況
  - 3) Oncomineの導入について
  - 4) 今年度の活動予定について
4. 平成26年度連携FD研修会の実施方針案について
5. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
6. その他

## 1-2 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（26-2）

---

### (1) 日時

開催日時：平成26年7月8日（火）14:15～

### (2) 議題

1. 東日本がんプロ合同シンポジウムについて
2. H26年度補助金交付申請書について
3. 養成実績調査について
4. 平成26年度連携FD研修会の実施方針案について
5. 外部評価委員会について
6. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
  - 1) コンサルティングの受付状況
  - 2) 今後の予定について
7. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
8. その他

### 1-3 がんプロ連携7大学運営連絡会（26-3）

---

#### (1) 日時・場所

開催日時：平成26年9月20日（火）18:20～

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟3階306教室

#### (2) 議題

1. がんプロ教育ワーキンググループについて
2. 東日本がんプロ合同シンポジウムについて
3. 人材交流（島根大学－順天堂大学）について
4. 外部評価委員会について
5. 肺がんシンポジウムの開催について
6. 島根大学共同研究について
7. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
  - 1) コンサルティングの受付状況
  - 2) 今後の予定について
8. 先導的がん医療開発研究センター管理運営規定案について
9. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
10. その他

### 1-4 がんプロ連携7大学運営連絡会（26-4）

---

#### (1) 日時・場所

開催日時：平成26年11月22日（土）17:00～

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟3階306教室

#### (2) 議題

1. FD研修会報告
2. 外部評価委員会について
3. 肺がんシンポジウムの開催について
4. 第3回臨床研究研修会（合宿）について
5. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
  - 1) コンサルティングの受付状況
  - 2) 今後の予定について
6. 島根大学共同研究について
7. 平成27年度予算について
8. 平成26年度全国がんプロ合同FDフォーラム開催について
9. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
10. その他

## 1-5 がんプロ連携7大学運営連絡会（26-5）

---

### (1) 日時・場所

開催日時：平成27年1月29日（金）（全国がんプロFDフォーラム終了後）17:15～

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟4階405教室

### (2) 議題

1. 平成26年度 合同フォーラム（がん薬物療法）について
2. 全国がんプロ協議会 第1回がん教育部会について（別添資料あり）
3. 外部評価委員会 評価結果について
4. 中間評価進捗状況報告書について
5. 平成25年度大学改革推進等補助金 実績報告書について
6. 平成27年度年次計画について
7. 平成27年度予算について
8. 第3回臨床研究研修会（合宿）について
9. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
  - 1) コンサルティングの受付状況
  - 2) 今後の予定について
10. 島根大学共同研究について
11. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
12. その他

## 1-6 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（26-6）

---

### (1) 日時

開催日時：平成27年3月10日（火）14:15～

### (2) 議題

1. 間評価報告 ヒアリング未実施の連絡
2. 緩和医療部会 ワークショップについて
3. 第3回臨床研究研修会（合宿）について
4. 平成25年度大学改革推進等補助金 実績報告書への質問について
5. 平成26年度実績報告書作成について
6. 平成27年度年次計画について
7. 平成27年度補助金調書について
8. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について（別添資料あり）
  - 1) コンサルティングの受付状況
  - 2) 今後の予定について
9. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
10. その他

文部科学省 平成 24 年度  
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

## 平成 26 年度活動報告書

発行：順天堂大学先導的がん医療開発研究センター  
順天堂大学がん生涯教育センター  
東京都文京区本郷 2-1-1

許可なく転載・複製を禁じます。



